

平成24年度

保健活動のまとめ

大口町保健センター

大口町健康の町宣言

健康は、まちの財産であり、しあわせの源であります。

心身ともに健康であることは、町民すべての願いであり、活力あるまちづくりのうえで、最も大切なことでもあります。

私たち大口町民は、一人ひとりが健康でしあわせな、明るい活力ある大口町を築くため、ここに「健康の町」を宣言します。

- 1 スポーツやレクリエーションをとおして、健康なところとからだをつくります。
- 2 町民一人ひとりが調和のある、健康で豊かな家庭をつくります。
- 3 健康づくりを地域にひろめ、健康で豊かなまちをつくります。

目 次

1 大口町の概要

1	町の位置及び紹介	1
2	大口町医療機関等分布図	2
3	人口	2
4	人口動態統計年次推移	5
5	選択死因別死亡数・(人口10万対)年次推移	5
6	大口町組織図	8
7	保健センターの概要	9
8	保健活動の変遷	11

2 母子保健活動

1	母子保健事業の取り組み	15
2	一般不妊治療費助成事業	16
3	母子健康手帳の交付	16
4	子育て相談室	17
5	フレッシュママの会	17
6	離乳食教室	18
7	たんぽぽ教室	19
8	家庭訪問	20
9	妊婦乳児健康診査	20
10	乳幼児健康診査	21
11	子育て支援・他機関との連携	23

3 成人保健活動

1	成人保健の取り組み	26
2	健康手帳の交付	26
3	特定健診・特定保健指導	27
4	各種がん検診	31
5	結核・肺がん検診	36
6	わかば健康診査	37
7	肝炎ウイルス検診	38
8	骨密度測定	39
9	健康教育	40
10	健康相談	44
11	介護予防事業	45

4 歯科保健活動

1	歯科保健事業の取り組み	46
2	幼児期歯科健康診査	47
3	フッ化物洗口説明会	48
4	歯の健康センター	48
5	妊婦歯科健康診査	49
6	歯周病予防健診	50
7	8020・9018運動 歯の健康コンクール	51
8	口腔機能向上事業	52

5 健康推進事業

1	健康推進員活動	53
2	健康おおぐち21計画推進	58
3	国保・介護・健康・福祉の連携取組状況	61

6 感染症予防事業

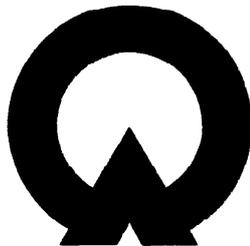
1	予防接種	65
---	------	----

7 その他

1	学生実習指導	69
---	--------	----

1 大口町の概要

1 町の位置及び紹介



町 章



大口町は、愛知県の西北部にあり、犬山扇状地の東南部に位置しています。東西約3.6キロメートル、南北約6.1キロメートル、総面積13.58平方キロメートルです。北は扶桑町、北東は犬山市、北西から西は江南市、南から南東は小牧市に接しています。

名古屋市より直線距離にしてわずか18キロメートルの近郊地域に位置していますが、五条川をはじめとした恵まれた自然や田園地帯が広がることから、良好な環境を有する住宅地としての魅力が高まっています。

町中央部を国道41号線が南北に走るとともに、周辺には東名高速道路、名神高速道路、中央自動車道、名古屋都市高速道路がネットワークを形成しています。

2 大口町医療機関等分布図



3 人口

(1) 地区別世帯数 (単位: 世帯)

地区	区分	世帯
秋田		766
豊田		640
大屋敷		562
外坪		281
河北		542
余野		1,867
上小口		589
中小口		780
下小口		1,583
垣田		395
さつきヶ丘		322
合計		8,327

(2) 地区別人口 (単位: 人)

地区	区分	人口		
		男	女	総数
秋田		1,124	1,119	2,243
豊田		983	954	1,937
大屋敷		771	757	1,528
外坪		420	402	822
河北		814	840	1,654
余野		2,633	2,530	5,163
上小口		832	747	1,579
中小口		1,112	1,102	2,214
下小口		2,058	1,832	3,890
垣田		411	544	955
さつきヶ丘		416	416	832
合計		11,574	11,243	22,817

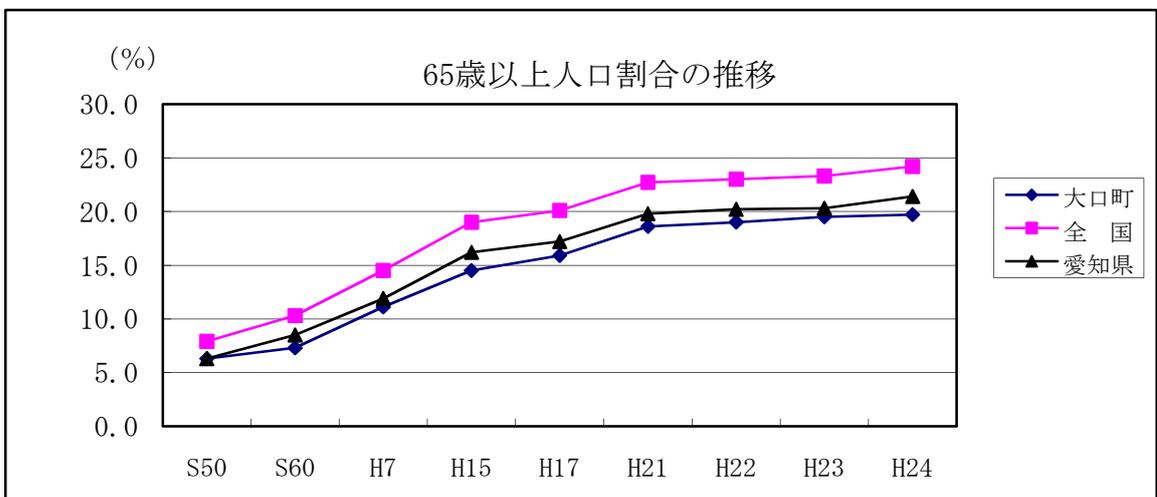
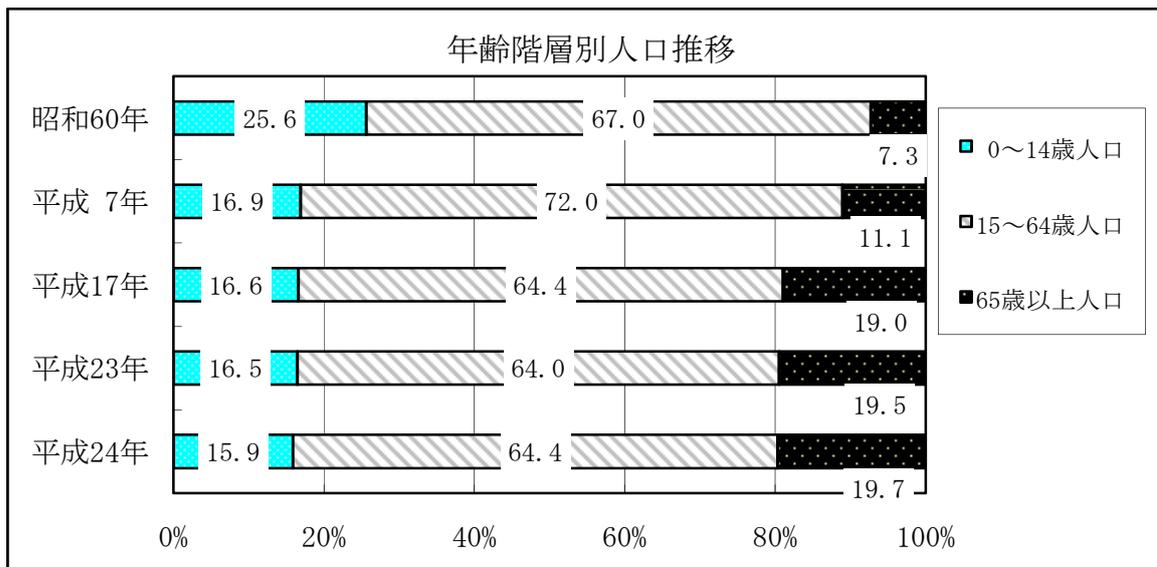
(平成24年10月1日現在 住民基本台帳による)

(3) 年齢階層別人口の推移

(単位 上段：人 下段：%)

		昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成23年	平成24年
総人口		15,894	16,195	19,031	21,261	22,178	22,817
年齢階層区分	0～14歳人口	4,052	4,153	3,223	3,616	3,660	3,622
	比率	25.5	25.6	16.9	17.0	16.5	15.9
	15～64歳人口	10,840	10,852	13,702	14,257	14,203	14,689
	比率	68.2	67.0	72.0	67.1	64.0	64.4
	65歳以上人口	1,002	1,190	2,106	3,388	4,315	4,506
	比率	6.3	7.3	11.1	15.9	19.5	19.7
	40歳以上人口	4,466	5,216	8,648	10,189	11,407	11,848
	比率	28.1	32.2	45.4	47.9	51.4	51.9
75歳以上	308	421	873	1,364	1,750	1,862	
比率	1.9	2.6	4.6	6.4	7.9	8.2	
全国	65歳以上人口比率	7.9	10.3	14.5	20.1	23.3	24.1
愛知県	65歳以上人口比率	6.3	8.5	11.9	17.2	20.6	21.4

資料：全国・愛知県は、総務省統計局発表のもの。各年、10月1日の人口に基づく。
 ※平成23年度全国・愛知県の65歳以上人口比率は平成25年4月16日総務省統計局発表(人口推計)のもの。



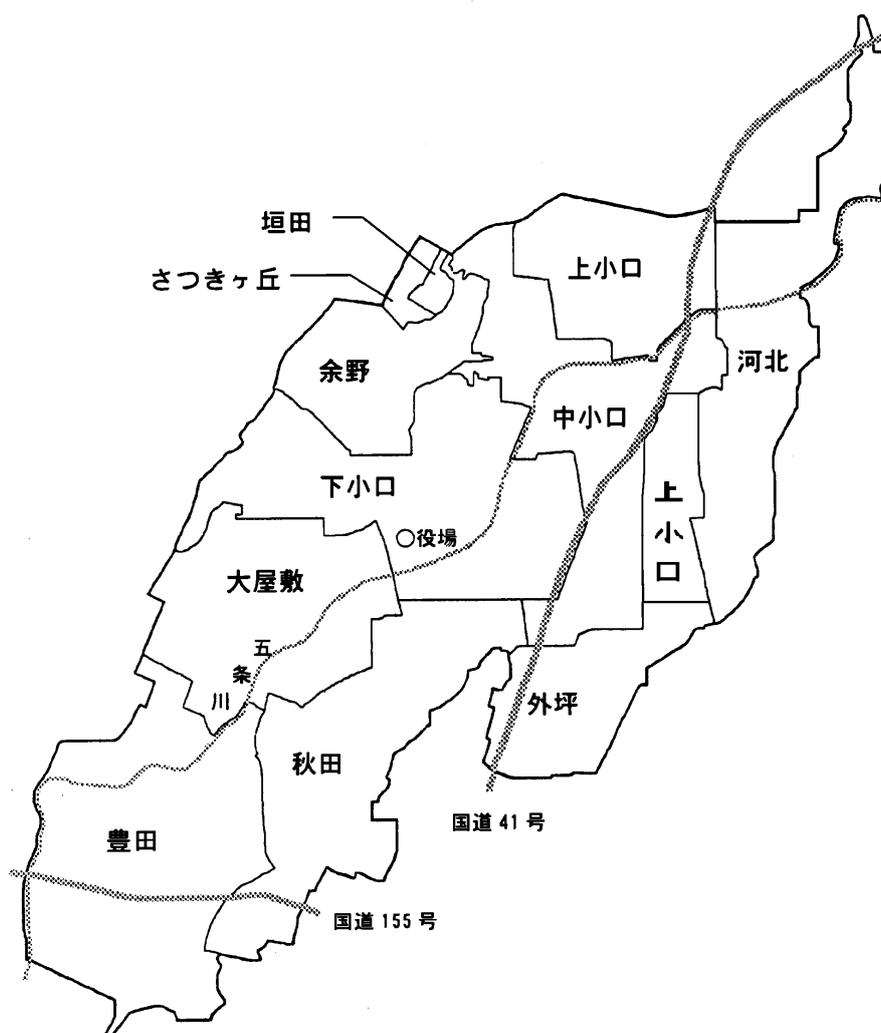
(4) 地区別高齢化率

(単位：人)

地 区	秋田	豊田	大屋敷	外坪	河北	余野
人 口	2,243	1,937	1,528	822	1,654	5,163
65歳以上人口	453	452	398	231	299	661
比 率 (%)	20.2	23.3	26.0	28.1	18.1	12.8
地 区	上小口	中小口	下小口	垣田	さつきヶ丘	合計
人 口	1,579	2,214	3,890	955	832	22,817
65歳以上人口	356	423	770	201	262	4,506
比 率 (%)	22.5	19.1	19.8	21.0	31.5	19.7

(平成24年10月1日現在 住民基本台帳による)

〈行政区域図〉



4 人口動態統計年次推移

(単位：人 率：1,000対)

種別 年	人口		出生		死亡		自然増加		乳児死亡(再掲)		新生児死亡		周産期死亡		死産		婚姻		離婚	
	総数	男	女	率	総数	男	女	率	実数	率	男	女	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数
平成 2	156	82	74	8.9	85	52	33	4.8	82	4.7	-	-	-	7	42.9	124	7.1	17	0.97	
7	213	106	107	11.2	119	70	49	6.3	94	4.9	1	-	2	9.4	132	6.9	33	1.73		
17	229	123	106	10.7	157	83	74	7.4	72	3.3	1	-	-	9	37.8	139	6.5	44	2.1	
21	238	138	100	10.8	164	84	80	7.4	74	3.3	-	-	2	8.3	122	5.2	37	1.7		
22	234	123	111	10.5	170	99	71	7.7	73	3.3	-	-	-	4	17.1	125	5.6	41	1.8	
23	221	121	100	10	175	91	84	7.8	46	2.1	-	-	-	3	13.6	127	5.7	33	1.5	
24	214	106	108	9.5	174	91	83	7.7	40	1.8	-	-	-	3	13.8	126	5.6	24	1.06	
愛知県 H23	68,973	35,374	33,599	9.6	59,720	32,206	27,514	8.2	9,253	1.3	176	86	90	2.6	1,373	19.5	42,425	5.8	13,451	1.85
全国 H23	1,050,806	538,271	512,535	8.3	1,253,066	656,540	596,526	9.9	-202,260	-1.6	2,463	1,269	1,194	2.3	25,751	23.9	661,895	5.2	235,719	1.87

※人口は、大口町が愛知県民生活部統計課発表の総人口、愛知県及び全国が総務省統計課推計の日本人口で各年10月1日現在である。

※愛知県・全国：愛知県衛生年報および厚生労働省人口動態より。

< 率算出式 >

$$\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率} = \frac{\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{死産数}}{\text{出生(出生+死産)数}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡・新生児死亡率} = \frac{\text{乳児死亡・新生児死亡}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

5 選択死因別死亡数・率(人口10万対)年次推移

(単位：人)

死因 年	総数		結核		悪性新生物		糖尿病		高血圧		心疾患		脳血管疾患		大動脈瘤及び解離		肺炎		慢性閉塞性肺疾患		喘息		肝疾患		腎不全		老衰		不慮の事故		自殺		その他	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率		
平成 2	85	-	25	143.2	-	-	2	11.5	14	80.2	10	57.3	-	-	7	40.1	-	-	1	5.7	3	17.8	4	22.9	6	43.4	4	22.9	4	22.9	9	51.5		
7	119	1	37	194.5	2	10.5	2	10.5	14	73.6	16	84.1	-	-	12	63.1	1	5.3	1	5.3	2	10.5	4	21.0	7	36.8	3	15.8	17	89.3				
17	157	-	46	216.4	2	9.4	-	-	30	141.1	19	89.4	-	-	19	89.4	3	14.1	1	4.7	4	18.8	4	18.8	6	28.2	2	9.4	21	98.8				
21	164	-	53	239.4	2	9.0	0	0	27	122.0	16	72.3	2	9	24	108.4	1	4.5	0	0.0	4	18.1	4	18.1	5	22.6	4	18.1	19	85.8				
22	170	-	54	243.3	1	4.7	0	0	27	127.4	11	51.9	1	4.7	22	103.8	3	13.5	0	0.0	5	22.5	10	45.0	7	31.5	4	18	24	108.1				
23	175	-	49	220.9	1	4.5	0	0	19	85.6	19	85.6	5	23	25	112.7	0	0.0	3	13.5	4	18.0	14	6.3	6	27.1	3	13.5	27	121.7				
24	174	-	41	181.1	1	4.4	-	-	25	110.4	16	70.7	1	4.4	23	101.6	1	4.4	-	-	2	8.8	20	88.4	4	17.7	6	26.5	31	136.9				
愛知県 H23	59,720	2.2	17,596	242.3	575	7.9	242	3.3	8,454	116.4	5,723	78.8	849	12	5,444	75.0	704	9.7	64	0.9	1,155	15.9	2,847	39.2	2,038	28.1	1,481	20.4	240	3.3				
全国 H23	1,253,066	2,166	357,305	283.2	14,664	11.6	7,023	5.6	194,926	154.5	123,867	98.2	15,599	12	124,749	98.9	16,639	13.2	2,060	1.6	24,526	19.4	52,242	41.4	59,416	47.1	28,896	22.9	5,387	4.3				

※大口町：江南保健所事業概要、愛知県：愛知県衛生年報、全国：厚生労働省人口動態より。

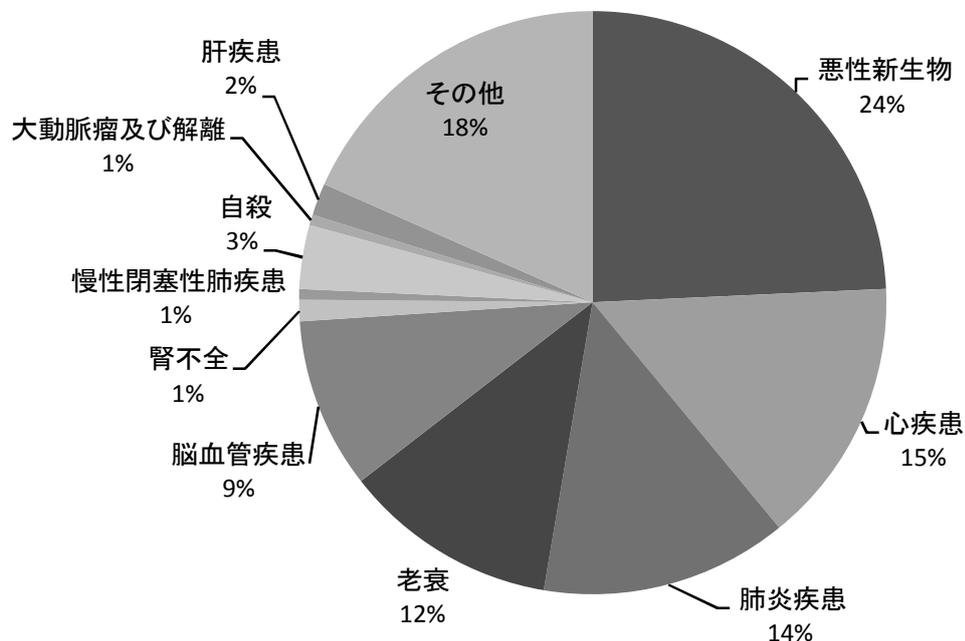
(1) 悪性新生物 部位別死亡人数 (平成24年)

(単位：人)

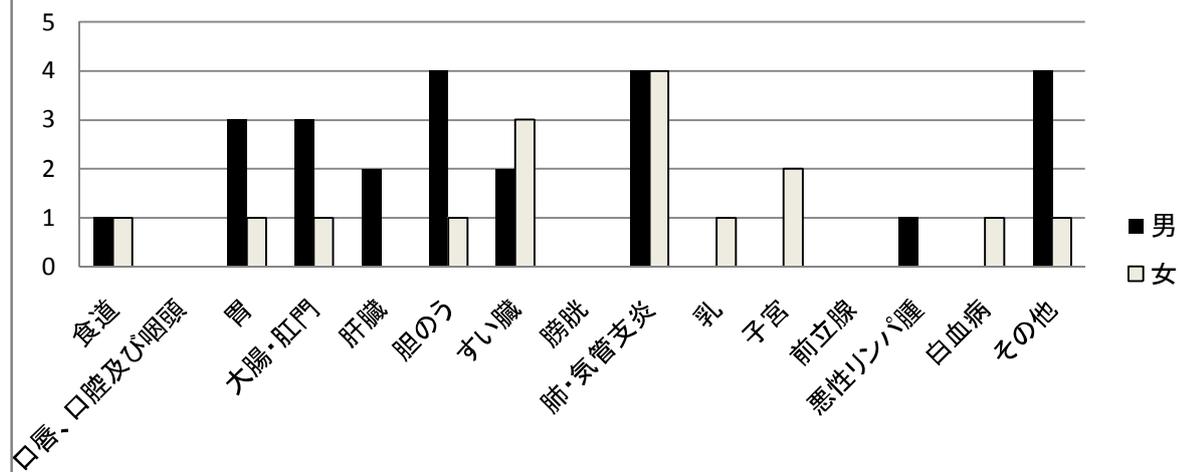
年 齢 (歳)	食 道	口 唇、 咽 頭、 口 腔	胃	大 腸 ・ 肛 門	肝 臓	胆 の う	す い 臓	膀 胱	肺 ・ 気 管 支 炎	乳	子 宮	前 立 腺	悪 性 リ ン パ 腫	白 血 病	そ の 他	総 数
0～9																0
10～19														1		1
20～29																0
30～39																0
40～49	1								1							2
50～59	1						2			1					1	5
60～69			2	2					1		2				1	8
70～79			1	1	1	3	2		3				1		1	13
80～89			1	1	1	2	1		2						2	10
90～									1							1
計	2	0	4	4	2	5	5	0	8	1	2	0	1	1	5	40

※平成24年4月～平成25年3月 戸籍保険課「死亡個票」より

選択死因別死亡割合(平成24年)

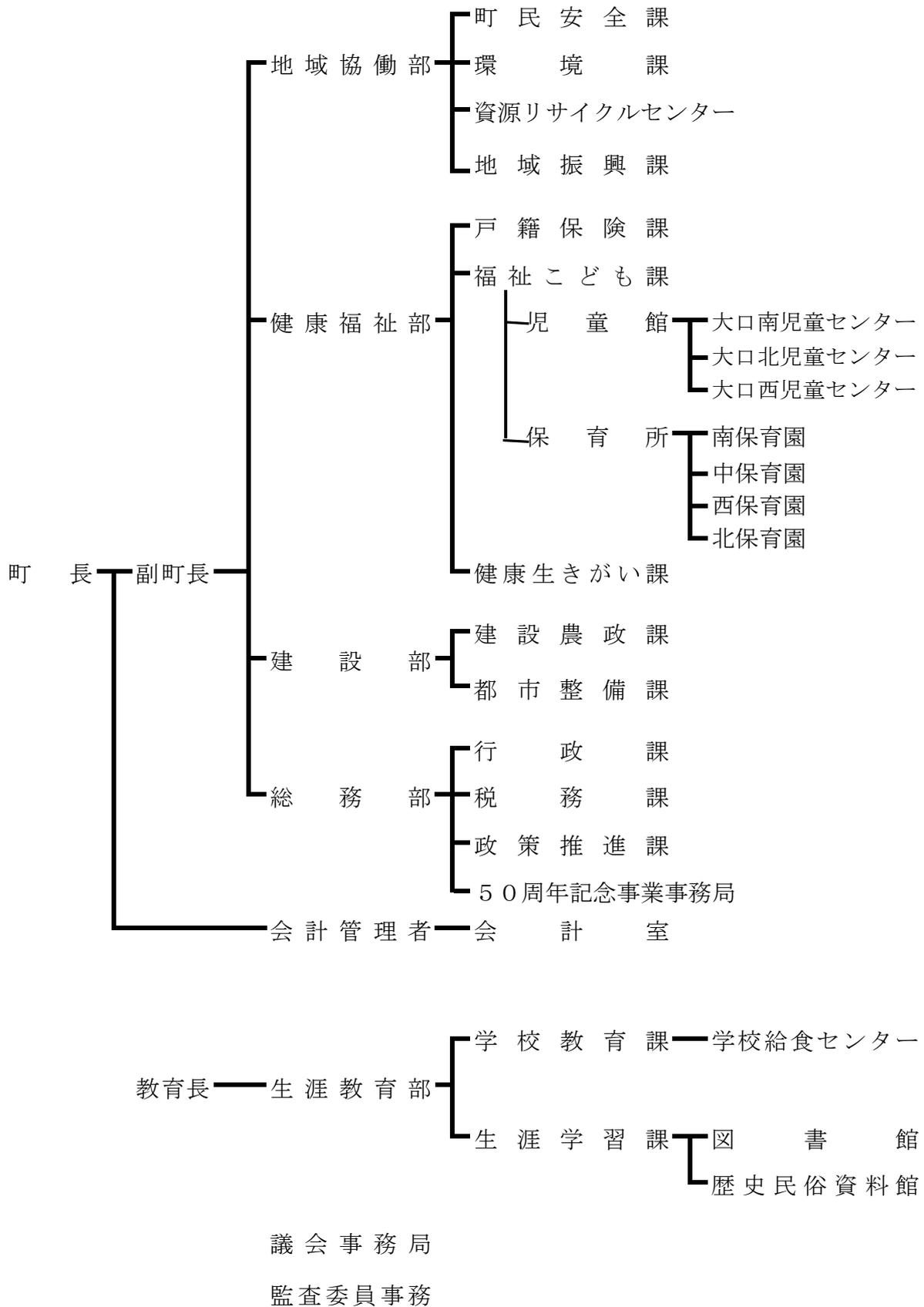


悪性新生物 部位別死亡人数(平成24年)



6 大口町組織図

(平成24年4月1日現在)



各種団体

社会福祉協議会（在宅介護サービス、地域福祉事業、相談窓口）
 コミュニティー・ワークセンター（軽作業請負、派遣）
 地域包括支援センター（高齢者相談・介護予防支援）

7 保健センター（健康文化センター）の概要

平成 10 年健康づくりの中核拠点、健康と福祉の交流拠点、歴史と文化のふれあい拠点として、健康文化センターが建設され、保健センターも健康文化センター内に移転した。

(1) 施設の概要（健康文化センター含む）

- ・位置 丹羽郡大口町伝右一丁目 3 5 番地
- ・本館 構造 鉄筋コンクリート造 5 階建
(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
 - 1 階 1,847.40 m² 保健センター（専用面積 974.78 m²）
 - 2 階 1,639.98 m² 保健センター（専用面積 611.92 m²）
社会福祉協議会
 - 3 階 1,106.63 m² 歴史民俗資料館
 - 4 階 1,106.63 m² 研修センター
 - 5 階 1,106.63 m² トレーニングセンター
 - PH 階（機械室） 167.04 m²
- ・機械棟 構造 鉄筋コンクリート造
床面積 168.00 m²
- ・駐輪場 構造 鉄骨造
床面積 40.00 m²
(延床面積 7,182.31 m²)
- ・敷地面積 10,413.95 m²
(内訳) 本 体 施 設 5,069.95 m²
ふれあい広場、駐車場 5,344.00 m²

- ・本体施設の工期
 - 着工 平成 9 年 6 月 24 日
 - 竣工 平成 10 年 9 月 24 日
- ・使用開始年月日
平成 10 年 11 月 9 日

(2) 保健センターの主要施設

- 1 階 事務室・応接室・栄養実習室・栄養指導室・会議室・相談室・機能回復
訓練室・作業室・多目的室・検査室・授乳室

- 2 階 待合室・予診室・計測室・診察室・歯科室・保健指導室・聴力室・カルテ
庫・消毒室・検査室・プレイルーム・授乳室

(3) 事務分掌

- ア 予防接種に関すること。
- イ 感染症に関すること。
- ウ 救急医療に関すること。
- エ 保健センターの管理運営に関すること。
- オ 地域保健対策に関すること。
- カ 医療団体等に関すること。
- キ 母子保健に関すること。
- ク 成人保健に関すること。
- ケ 健康増進に関すること。
- コ 健康推進員に関すること。
- サ 健康おおぐち21計画の推進に関すること。
- シ 介護保険等の認定調査に関すること。
- ス 健康文化センターに関すること。
- セ その他保健衛生に関すること。

(4) 主な事業内容

母子保健…母子健康手帳交付説明会、妊婦相談、妊婦・乳児健康診査、妊婦歯科健診、フレッシュママの会、乳幼児健康診査（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児）、離乳食教室、子育て相談室、たんぼぼ教室、2歳3か月児歯科健診、一般不妊治療費助成事業、子育てサークル等支援

成人保健…住民結核検診、特定健康診査・特定保健指導、肝炎ウイルス検診、がん検診（胃・子宮・肺・乳・大腸・前立腺）、一般健康診査、わかば健康診査、骨密度測定、健康手帳交付、健康相談、栄養相談、歯科相談、歯周病予防健診、わかば健診事後指導、高齢者の健康づくり教室（しなやかお達者の会、ひだまりの会）、歩く健康の集い、健康づくり自主グループ支援、依頼による健康教育

予防接種…集団接種：急性灰白髄炎（ポリオ：生ワクチン）、BCG接種

個別接種：麻疹・風疹混合（MR）、四種混合、三種混合、二種混合、日本脳炎、麻疹、風疹、インフルエンザ（65歳以上等）、急性灰白髄炎（ポリオ：不活化ワクチン）

任意接種：子宮頸がん ヒブ 小児肺炎球菌
高齢者肺炎球菌（助成事業）

家庭訪問…出生児（原則）全員、低出生体重児（2,000g以上）及び里帰り等の希望者、乳幼児健診事後フォロー、虐待予防、精神障害者、介護保険認定調査等

健康推進事業…健康おおぐち21計画推進事業、健康推進員活動、健康まつり等

その他…健康文化センター維持管理

8 保健活動の変遷

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
17	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康に関する連絡会開催（月1回） ・BCG直接接種となる（4月） ・日本脳炎予防接種の積極的接種勧奨を見合わせる（5月） ・日本脳炎予防接種第3期接種を廃止（7月） ・二種混合予防接種第1期接種を廃止（7月） ・ちゅーりっぷの会中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本健康診査を除く各種検診を有料とする ・歯周病予防健診（節目年齢）を医療機関委託で実施（8月～10月） ・わかば健診時歯科健診実施 ・8020運動表彰を「健康ウォーク&元気まつり」時に実施 ・介護予防教室（しなやかお達者教室）をあいち健康プラザとタイアップで実施 ・大屋敷ひだまりの会休止（3月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法施行（4月） ・発達障害支援法施行（4月） ・医療観察法施行（7月） ・健康おおぐち21推進イベントとウォーキング大会を1本化し協働事業で実施 ・健康おおぐち21シンボルマーク愛称公募し決定（11月） ・第6次大口町総合計画策定（3月） ・保健師1名退職（3月） ・大口町母子通園事業試行（4月～3月） ・在宅介護支援センター廃止（3月） ・看護師1名育休（1月～3月）
18	<ul style="list-style-type: none"> ・麻しん風しん混合ワクチン接種施行（4月） ・個別予防接種が二市二町共通要領にて実施となる（4月） ・麻しん及び風しんの単抗原ワクチンも法定内接種となる（6月） ・母親教室の名称を変更し、内容を改編し、パパママ教室を育児編・栄養編として実施（各年6回） ・たんぼぼ教室を月2回実施 ・9か月児健診を10か月児健診とする ・マニエーキーホルダーを希望者に配布開始（1月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室（しなやかお達者教室）を豊田地区で実施 ・男性のための健康づくり教室元気UPヘルシーライフ教室実施 ・住民結核検診の対象が40歳以上となる ・ひだまりの会（中小口）の健康チェックをハートフルへ委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターを町直営で開始（保健師1名福祉課へ異動） ・看護師1名育休（4月～3月） ・管理栄養士1名産育休（9月～3月） ・改正介護保険法の施行 ・がん対策基本法の制定（6月）（施行は19年4月） ・障害者自立支援法の施行（4月） ・高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律（新バリアフリー法）の制定（6月） ・健康保険法等の一部改正法（医療制度改革関連法）制定・公布（7月） ・歯科衛生士（臨時）1名常勤採用（4月） ・母子通園事業本格実施

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
19	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦歯科健康診査を医療機関に委託で実施 ・プレママ交流会（栄養編・育児編）の実施 ・歯科健診の対象者を2歳3か月児とする ・1歳6か月児健診時の歯科染めだしを廃止 ・子育て相談室に心理相談員を組み入れる ・西小学校区連絡会発足（健康部会に参加） ・妊婦健康診査の公費負担を4～9月までは4回、10月から7回で実施 ・一般不妊治療費の助成を実施（10月） ・予防接種法施行規則の一部を改正する省令施行（12月） ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令（20年1月） ・麻疹に関する特定感染症予防指針（20年1月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん健診の医療機関での視触診のみを廃止、集団での超音波による健診を導入 ・国保連合会事業として「ヨーガ」教室を実施 ・介護予防事業のための人材育成（貯筋体操ひろめ隊）講座を実施 ・介護予防連絡会開始（地域包括支援センターより発信） 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師1名育休（4月～3月） ・管理栄養士1名育休（4月～3月） ・保健師1名育休（9月～3月） ・健康おおぐち21中間評価を実施 ・健康まつり運営事業を「健康クラブ笑顔21」と協働契約で委託実施 ・老人保健法の改正（20年3月）
20	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期・4期麻しん風しん混合ワクチン接種施行（5月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会事業として生き生き教室実施 ・特定健診、特定保健指導開始（4月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師1名育休（4月～3月） ・保健師1名育休（4月～3月） ・保健師1名育休（11月～3月） ・老人保健法の改正により、法律名が「高齢者の医療の確保に関する法律」に変更され施行（4月）

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査の公費負担を14回で実施 ・日本脳炎ワクチンに加え、「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」を定期の予防接種に用いるワクチンとして追加する(6月) ・予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん・子宮がん検診実施医療機関を拡大 ・女性特有のがん検診推進事業開始(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・機構改革により、健康課から健康生きがい課となる。 ・看護師1名育休(4月～3月) ・保健師1名育休(4月～3月) ・保健師1名育休(5月～3月) ・保健師1名育休(3月～) ・アメリカで豚由来のインフルエンザウイルスの患者を確認と公表 ・WHO「フェーズ6(世界的流行)宣言 国「基本的対処方針」策定 国「新型インフルエンザワクチン接種の基本方針」策定
2 2	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳に対する日本脳炎初回接種の積極的勧奨が再開(4月) 日本脳炎ワクチンが使用不可となり、「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」のみの使用 第2期接種再開となる 9歳以上13歳未満で第1期未接種者を接種対象とする特例が出る(8月) ・「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金事業」により、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部助成が開始(1月) ・妊婦健康診査の公費負担項目に子宮頸がん、GBSが追加。超音波検査の年齢条件がなくなり、検査は4回実施。乳児健康診査受診票が1回のみとなる ・パパママ教室、プレママ交流会の休止 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性特有のがん検診事業 クーポン券5月に発送 1月に未受診者に受診勧奨通知 ・前立腺がん検診定員を拡大 ・介護・保険・健康の連携した取り組みを開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師3名育休(4月～3月) ・管理栄養士1名育休(4月～3月) ・保健師1名退職(12月) ・地域包括支援センターをハートフル大口へ委託(4月) ・新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン接種事業が終了(23年3月)

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
23	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診8回目にHTLV-1とクラミジア抗体検査を追加 ・子育て相談室の第1週目を廃止(平成24年1月～) ・4か月健診時 母乳相談を開始(平成24年1月～) <p><予防接種></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本脳炎の年齢枠が拡大(H7.6.1生まれ～H19.4.1生まれ 20歳未満の間接種可) 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかば健診時に実施していた歯科健診を中止 ・大腸がん検診を各種集団がん検診時に申し込みできる体制にする。 ・高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業開始(6月～) ・歯周病予防健診を年間を通じて実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師1名戸籍保険課へ異動 ・看護師1名産休育休(9月～3月) ・保健師1名育休(4月～3月) ・保健師1名退職(3月) <ul style="list-style-type: none"> ・歯科口腔保健の推進に関する法律(平成23年8月10日公布) ・ドアノッキング事業開始(24年1月～)
24	<ul style="list-style-type: none"> ・北児童センターにて出張子育て相談を実施(単年) ・一般不妊治療費助成事業の助成内容の変更(対象となる治療内容と助成額) <p><予防接種></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月～尾張北部医療圏域内での広域予防接種の開始 ・9月～ポリオに係る使用ワクチンが“生ワクチン”から“不活化ワクチン”に変更 ・11月～ジフテリア・破傷風・百日せき・ポリオ予防接種に使用するワクチンに「四種混合ワクチン」が追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のがん検診の同日開催の実施 ・国保連合会事業としてポールウォーキング教室(12回)の実施 ・ポールウォーキングの自主グループの立ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師1名育休(4月～3月) ・保健師1名産休育休(5月～3月) ・保健師1名採用(任期付き) <ul style="list-style-type: none"> ・健康実態調査の実施 ・大口町制50周年 ・電算システム「super保健師さん」から「健康かるて」へ変更

※平成元年～15年までは「平成21年度保健活動のまとめ」に記載。

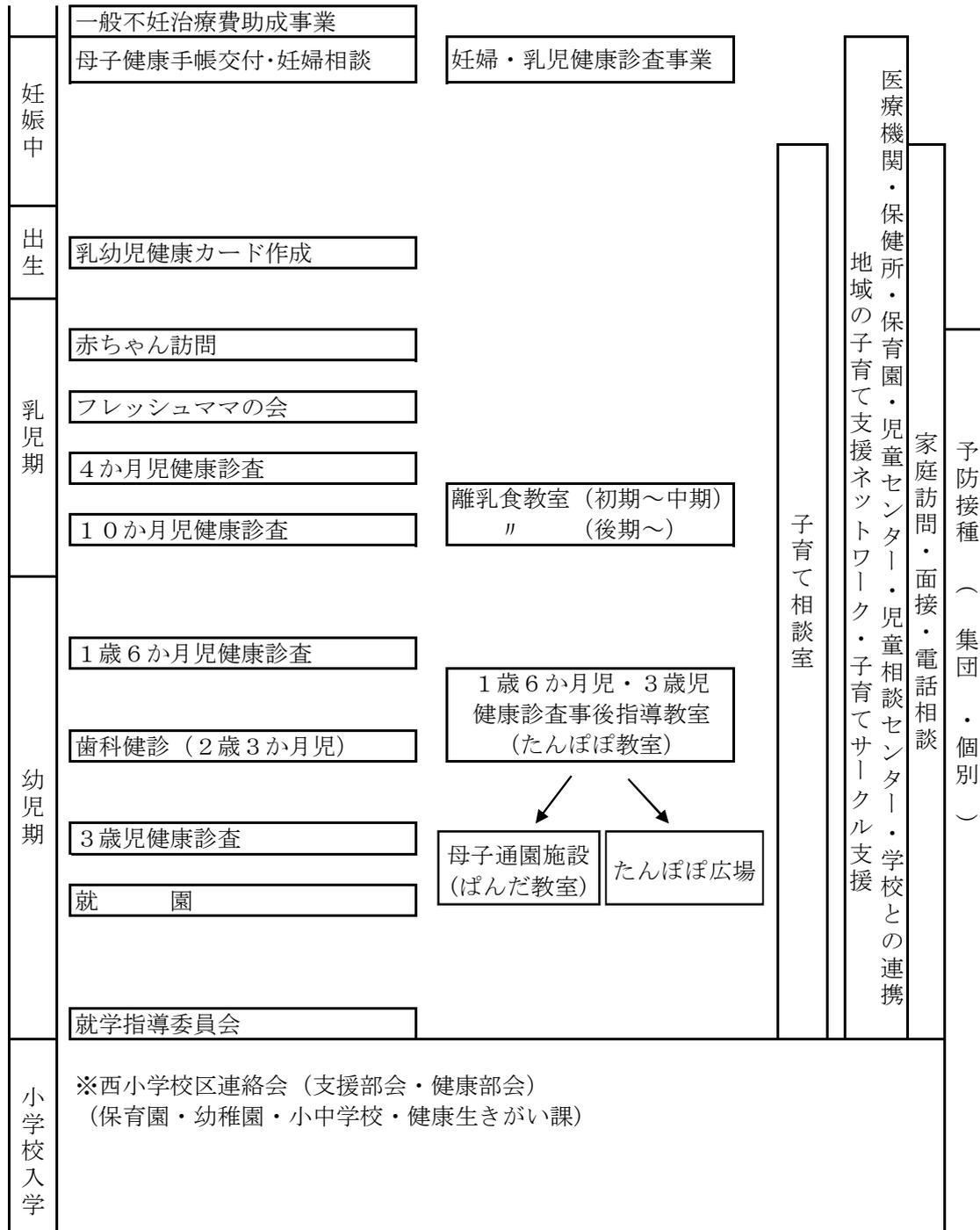
16年は「平成22年度保健活動のまとめ」に記載。

2 母子保健活動

1 母子保健事業の取り組み

母子保健事業は、妊娠・出産・育児を通して母性や父性が育まれ、乳幼児が愛されかつ心身ともに健やかに育つことを目指し、子どもの発達や親の育児力に合わせた保健指導を行った。支援が必要なケースについては、医療機関や母子通園施設、福祉こども課等関係機関と連携して就学前まで継続的な子育て支援を行った。

母子保健 管理体系



2 一般不妊治療費助成事業

不妊症と診断され人工授精の治療を受けた夫婦を対象に、治療に要した自己負担額の1/2相当額を1年度あたり45,000円を限度に助成した。

(1) 助成状況 (単位：人)

年度	申請件数(新規申請)	母子健康手帳交付
H22	18 (13)	1
H23	25 (11)	7
H24	8 (1)	4

※H24年4月診療分から助成対象を性タイミング療法、人工授精等の一般不妊治療のうち保険適応外の人工授精に限定。

3 母子健康手帳の交付

妊娠の届出により保健師が母子健康手帳を交付し、妊婦の健康を守り健全な児を産み育てることができるよう保健指導を実施した。

(1) 日 時 説明会：毎月第1・3木曜日 午前10時～11時30分
随時

(2) 内 容 母子健康手帳の使い方 妊娠中の生活についての話
説明会は保健師・栄養士・歯科衛生士の話、出産経過のビデオ視聴、交流会を実施。

(3) 妊娠届出者の状況 (単位：人)

年度	妊娠届出数	妊娠週数				
		11週以内	12～19週	20～27週	28週以上	分娩後
H23	223	186 (83.4%)	35 (15.7%)	2 (0.9%)	0	0
H24	206	175 (85.0%)	24 (11.7%)	4 (1.9%)	3 (1.5%)	0

(単位：人)

年度	年齢		初産婦	就業有	喫煙有	飲酒有
	20歳未満	40歳以上				
H23	2 (0.9%)	2 (0.9%)	99 (44.4%)	115 (51.6%)	5 (2.2%)	3 (1.3%)
H24	3 (1.5%)	6 (2.9%)	101 (49.0%)	112 (54.4%)	10 (4.9%)	1 (0.5%)

4 子育て相談室

育児不安等の問題を抱える保護者が、安心して育児に取り組めるよう個別相談を実施した。また、地域でも気軽に育児相談を受けられるよう北児童センターにおいて出張子育て相談を実施した。

(1) 日 時 毎月第3月曜日 午前9時～11時30分（心理相談員による発達相談は奇数月）
助産師による母乳相談は毎月第4水曜日 午後1時30分～2時15分

出張子育て相談は偶数月第4火曜日 午前10時～11時30分

(2) 内 容 身体計測 育児相談 経過観察児相談 母乳相談

(3) 従事者 保健師 栄養士 心理相談員 助産師

(4) 相談者の状況 (単位：人)

年度	相談者総数		妊婦（再掲）		乳児（再掲）		幼児（再掲）	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
H23	293	832	0	0	128	365	165	467
H24	137	157	1	1	67	79	69	77

<内訳> (単位：人)

従事者	相談者総数（重複）		妊婦（再掲）		乳児（再掲）		幼児（再掲）	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
保健師	73	83	0	0	24 (17)	30 (19)	49 (43)	53 (46)
助産師	41	47	1	1	36	41	4	5
栄養士	21	22	0	0	11	11	10	11
心理相談員	14	14					14 (11)	14 (11)

※（ ） 健診事後指導者数再掲

<出張子育て相談> 乳児 延7人 幼児 延23人

5 フレッシュママの会

育児の悩みを抱えやすい産後間もない母親同士が、悩みを共感し前向きに育児に取り組めるよう仲間づくりを目的として、生後1～3か月児の母親を対象に開催した。

(1) 日 時 偶数月第4金曜日 午後1時30分～3時

(2) 内 容 身体計測 座談会 ベビーマッサージ 予防接種の話

(3) 従事者 助産師 保健師

(4) 参加状況

年度	実施回数	参加数（初産再掲）
H22	6回	94 (71) 組
H23	6回	85 (51) 組
H24	6回	67 (45) 組

6 離乳食教室

(1) 目的及び対象者等

	らくらく離乳食教室（前期）	もぐもぐ教室（後期）
目的	離乳食の開始から7か月頃の意義について正しく理解し、一生のうちで離乳食期が食習慣の形成に大切な時期であることを認識する。	咀嚼の促しの必要性や歯の萌出に合わせた離乳食の形態を理解し作ることができる。また、離乳食だけではなく、家族の食事としての充実を図る。
対象者	生後5～7か月児とその保護者	生後8～11か月児とその保護者
日時	奇数月第3水曜日（年6回） 午前10時～11時30分	偶数月第3水曜日（年6回） 午前9時30分～11時30分
内容	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食の開始から7か月頃の講話 離乳食のデモンストレーションとその試食 個別相談（希望者） 	<ul style="list-style-type: none"> 9か月頃以降の進め方についての講話 調理実習（親の食事からの取り分け食） 試食と個別相談（希望者）
従事者	管理栄養士 保健師	
場所	保健センター1階 栄養実習室・栄養指導室	

(2) 参加状況

(ア) らくらく離乳食教室の参加内訳

参加人数	5か月未満児	5・6か月児	7か月以上児	個別相談者
68人	22人	46人	0人	34人

※1回当たり 11.3 人の参加

(イ) もぐもぐ教室の参加内訳

参加人数	9か月未満児	9・10か月児	11か月以上児	個別相談者
49人	8人	46人	4人	37人

※1回あたり 8.2 人の参加

らくらく離乳食教室では、離乳食開始時期を生後6か月以降に計画する保護者が増え、食物アレルギーなどへの不安やすすめ方に不安を感じる保護者が多い。もぐもぐ教室では、食材の形態と子どもの食欲や咀嚼の状況及び歯の萌出等の要素がかみ合っていない親子が多い。保護者が正しい知識を持ち、口腔発達の段階を理解し、個々の発達段階や欲求に応じてスムーズに離乳食を進めていけるよう、健診や乳児相談の場でポイントを押さえて支援する必要がある。

7 たんぽぽ教室

1歳6か月児及び3歳児健康診査等で育児や発達について経過観察が必要となった親子に対し、集団の場を体験しながら子どもに合わせた関わりを学び考えていくことで、よりよい発達を促すことを目的に教室を開催した。教室を終了した親子には、必要に応じ継続して療育指導を受けられるよう母子通園施設や地域の集団体験の場であるたんぽぽ広場の参加を勧奨した。

- (1) 日 時 毎月第2・4木曜日 午前9時45分～正午
(スタッフカンファレンスは午前9時15分～9時45分、午後1時～3時)
- (2) 参加回数 1クール6回 (必要に応じ2クールまで継続参加)
- (3) 従事者 保健師 保育士 心理相談員 (第2木曜日) 言語聴覚士 (第4木曜日)
家庭児童相談員 (年6回) 母子通園施設保育士 (年6回)

(4) 内 容

時 間	内 容
9:45～10:00	出席シール貼り
10:00～10:45	体操、あいさつ、返事、ふれあい遊び、手遊び、絵本よみきかせ 設定遊び(新聞、粘土、風呂敷、お絵描き、サーキット、制作)
10:45～11:00	手洗い、おやつ
11:00～11:30	母子分離(母親は保健師か心理相談員か言語聴覚士とグループ話し 合いを実施)
11:30～正午	個別相談(3回目・6回目)

(5) 実施状況 (単位:人)

年度	回数	参加人数	
		実人数	延人数
H22	24	62	355
H23	24	52	267
H24	24	42	262

(6) 参加者年齢内訳

H21年4月～H22年3月生まれの子 (次年度就園対象年齢) 23人
H22年4月～H23年3月生まれの子 19人

(7) 教室終了後の状況

母子通園施設を紹介 13人
たんぽぽ広場を紹介 18人
次年度継続参加を案内 5人
中断 3人
終了 3人 (うち就園により終了1人)

8 家庭訪問

乳児家庭全戸訪問事業においては、乳児家庭の孤立化を防ぐために助産師か保健師が生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の健康状態や養育環境の把握や助言を行った。また、若年や妊娠高血圧症等のハイリスク妊婦や発達や発育に問題のある乳幼児、育児不安や家庭環境に問題のある親子、乳幼児健診未受診者に対し、安心して出産、育児ができるよう家庭を訪問し支援した。

(1) 従事者 保健師 助産師

(2) 実施状況 (単位：人)

	妊婦		産婦		新生児		低出生体重児		乳児		幼児	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
実施数	2	5	211	211	14	14	20	20	181	182	22	39
(再掲) 乳児家庭全戸訪問 事業					14		20		177			

(3) 低出生体重児の状況 (単位：人)

年	出生数	低体重児出生数	率 (%)	1,300g～2,300g					
				1,300g 未満	1,300g ～ 1,499g	1,500g ～ 1,799g	1,800g ～ 1,999g	2,000g ～ 2,299g	2,300g ～ 2,499g
H22	234	17	7.3	0	0	2	1	4	10
H23	221	26	11.8	1	1	4	4	4	12
H24	214	23	10.7	3	0	0	1	1	18
愛知県 (名古屋を除く)	49,105	4,634	9.4	209	104	222	349	1,256	2,494

江南保健所事業概要より

9 妊婦乳児健康診査

妊娠の正常な経過や安全な分娩、乳児の発達を支援するため、定期的な受診ができるように14回分の妊婦健康診査及び1か月児健康診査に対し受診票を発行し健診費用を助成した。

受診票利用状況 (平成24年4月～平成25年3月受診)

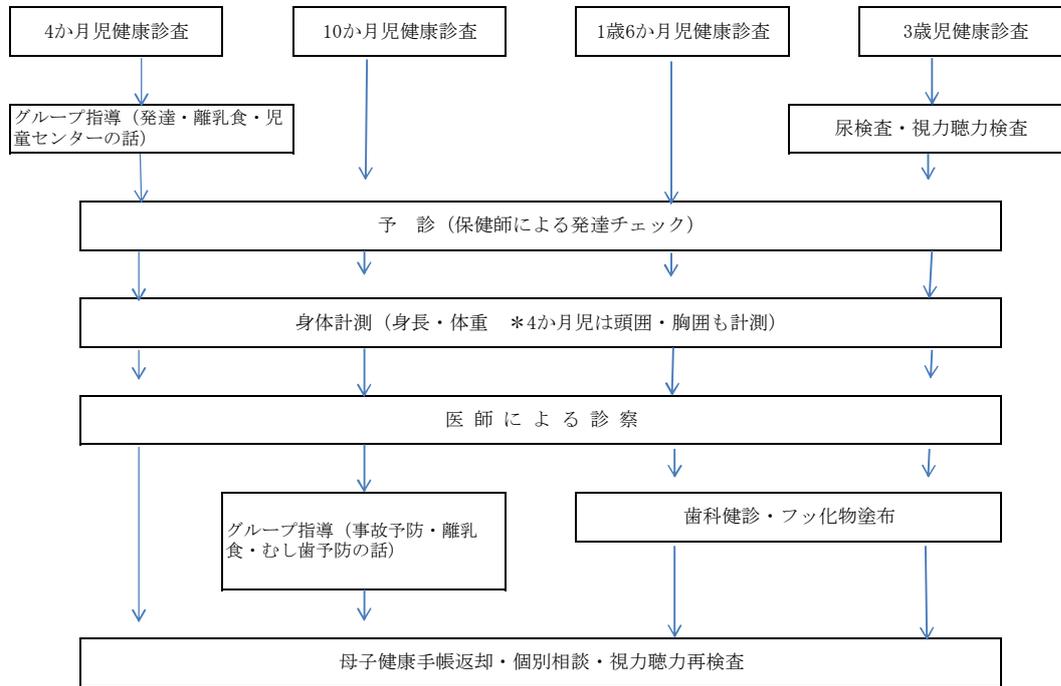
内容	受診者数 (人)	医師判定(人)		所見(人)		
		異常なし	異常あり	蛋白尿 (2+以上)	尿糖 (2+以上)	貧血*
子宮頸がん	191	188	3			
第1回	205	190	15	1	2	18
第2回	204	190	14	2	4	
第3回	205	192	13	1	0	
第4回	201	186	15	2	2	
第5回	209	206	3	2	3	
第6回	210	197	13	0	8	
第7回	207	196	11	0	8	
第8回	218	132	86	1	2	119
第9回	202	190	12	1	9	
第10回	202	183	19	0	6	
第11回	161	157	4	1	3	
第12回	171	127	44	1	5	68
第13回	125	123	2	2	2	
第14回	67	65	2	2	1	
1～14回合計	2,587	2,334	253	16	55	205
乳児健康診査	216	205	11			

* 血色素11.0g/dl未満

10 乳幼児健康診査

乳幼児期の大切な節目である時期に、先天性異常や視聴覚、運動機能、精神発達等の異常を早期に発見し、適切な指導を行い心身障害の進行を未然に防止するとともに、むし歯の予防、発育、栄養、生活習慣、その他の育児に関する指導を行い、乳幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的として乳幼児健康診査を実施した。

(1) 内容



(2) 4か月児健康診査結果

(単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H23	12	231	226	97.8%	203 (89.8)	10 (4.4)	8 (3.5)	2 (0.9)	3 (1.3)
H24	12	217	217	100%	170 (78.3)	27 (12.4)	13 (6.0)	2 (0.9)	5 (2.3)
愛知県 (H23)		50,348	49,575	98.5%	80.6%	6.9%	10.3%	1.5%	2.7%

4か月児健康診査要因別支援判定

(単位：人・%)

年度	子の要因 (発達)				子の要因 (その他)				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H23	216 (95.6)	0 (0.0)	10 (4.4)	0 (0.0)	207 (91.6)	4 (1.8)	15 (6.6)	0 (0.0)	210 (92.9)	10 (4.4)	6 (2.7)	0 (0.0)	226 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H24	213 (98.2)	0 (0.0)	4 (1.8)	0 (0.0)	195 (89.9)	3 (1.4)	18 (8.3)	1 (0.5)	201 (92.6)	10 (4.6)	6 (2.8)	0 (0.0)	217 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
愛知県 (H23)	91.6%	3.4%	4.7%	0.2%	81.2%	11.2%	5.9%	1.7%	87.7%	8.0%	4.1%	0.2%	99.1%	0.5%	0.3%	0.0%

(3) 10か月児健康診査結果 (単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H23	12	233	230	98.7%	205 (89.1)	9 (3.9)	14 (6.1)	2 (0.9)	0 (0.0)
H24	12	219	216	98.6%	198 (91.7)	15 (6.9)	2 (0.9)	1 (0.5)	0 (0.0)

10か月児健康診査要因別支援判定 (単位：人・%)

年度	子の要因 (発達)				子の要因 (その他)				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H23	206 (89.6)	14 (6.1)	10 (4.3)	0 (0.0)	214 (93.0)	5 (2.2)	11 (4.8)	0 (0.0)	192 (83.5)	26 (11.3)	12 (5.2)	0 (0.0)	230 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H24	195 (90.3)	5 (2.3)	16 (7.4)	0 (0.0)	203 (94.0)	2 (0.9)	11 (5.1)	0 (0.0)	181 (83.8)	22 (10.2)	13 (6.0)	0 (0.0)	215 (99.5)	0 (0.0)	1 (0.5)	0 (0.0)

(4) 1歳6か月児健康診査結果 (単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H23	12	208	202	97.1%	173 (85.6)	9 (4.5)	20 (9.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
H24	13	248	244	98.4%	214 (87.7)	12 (4.9)	18 (7.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
愛知県 (H23)		50,781	49,249	97.0%	82.7%	5.0%	9.6%	0.9%	1.8%

1歳6か月児健康診査要因別支援判定 (単位：人・%)

年度	子の要因 (発達)				子の要因 (その他)				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H23	83 (41.1)	14 (6.9)	105 (52.0)	0 (0.0)	191 (94.6)	6 (3.0)	5 (2.5)	0 (0.0)	182 (90.1)	16 (7.9)	4 (2.0)	0 (0.0)	202 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H24	93 (38.1)	6 (2.5)	145 (59.4)	0 (0.0)	234 (95.9)	5 (2.0)	5 (2.0)	0 (0.0)	215 (88.1)	16 (6.6)	13 (5.3)	0 (0.0)	244 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
愛知県 (H23)	52.9%	16.3%	30.0%	0.8%	85.4%	9.7%	3.7%	1.2%	85.2%	9.9%	4.7%	0.2%	98.6%	0.9%	0.4%	0.1%

(5) 3歳児健康診査結果 (単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H23	12	248	252	101.6%	175 (69.4)	15 (6.0)	29 (11.5)	0 (0.0)	33 (13.1)
H24	12	213	208	97.7%	157 (75.5)	8 (3.8)	17 (8.2)	0 (0.0)	26 (12.5)
愛知県 (H23)		51,141	48,529	94.9%	76.3%	4.1%	10.0%	0.9%	8.7%

3歳児健康診査要因別支援判定 (単位：人・%)

年度	子の要因 (発達)				子の要因 (その他)				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H23	164 (65.1)	31 (12.3)	38 (15.1)	19 (7.5)	237 (94.0)	3 (1.2)	10 (4.0)	2 (0.8)	241 (95.6)	9 (3.6)	2 (0.8)	0 (0.0)	251 (99.6)	0 (0.0)	1 (0.4)	0 (0.0)
H24	130 (62.5)	12 (5.8)	50 (24.0)	16 (7.7)	206 (99.0)	0 (0.0)	2 (1.0)	0 (0.0)	198 (95.2)	6 (2.9)	4 (1.9)	0 (0.0)	208 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
愛知県 (H23)	71.4%	13.4%	12.7%	2.5%	72.0%	14.7%	11.5%	1.8%	89.2%	7.5%	3.0%	0.3%	98.3%	1.1%	0.5%	0.1%

1 1 子育て支援・他機関との連携

(1) 赤ちゃん抱っこ体験（中学生子育て体験）

大口町次世代育成支援後期行動計画の「次代の親を育むための教育」として、中学生が乳幼児とのふれあいを通じて自分を大切にする気持ちや命の尊さ、人を思いやる心を養うことを目的として開催された。（主催：福祉こども課）

ア 日時・場所・参加者（中学生）

平成24年7月30日（月） 午前10時～正午・南児童センター・17人

平成24年8月 8日（水） 午前10時～正午・北児童センター・17人

イ 従事者

児童センター厚生員 保健師 中学校養護教諭 子育てネットワーカー

(2) 療育支援連絡会

乳幼児期の療育支援のあり方についての検討会や要支援ケースの情報交換を目的として開催された。（主催：福祉こども課）

ア 日時

平成24年5月10日（木） 8月23日（木） 平成25年2月14日（木） 午後3時～5時15分

イ 出席者

保育長 保育園 児童センター 母子通園 家庭児童相談員 保健師

(3) 西小学校区連絡会

大口町の子どもたちを取り巻く様々な現状や課題について情報交換及び検討することを目的として開催された。（主催：西小学校）

ア 日時

<支援部会>平成24年4月24日（火） 6月5日（火） 9月11日（火） 11月27日（火）

平成25年2月26日（火） 午後4時～5時

<健康部会>平成24年11月27日（火） 午後3時30分～4時

イ 出席者

西小学校 中学校 幼稚園 保育園（北・西） 西児童センター 保育長 保健師

(4) 要保護児童実務者会議

児童虐待に関する情報交換及び要保護児童等の実態把握、支援体制の検討を目的として開催された。（主催：福祉こども課）

ア 日時

毎月第1木曜日 午後2時～3時

イ 出席者

一宮児童相談センター（児童福祉司） 尾張福祉相談センター（家庭児童相談員）

江南保健所（保健師） 福祉こども課 学校教育課 健康生きがい課（保健師）

(5) ハイリスク養育支援連絡会

江南厚生病院こども医療センター、NICU・GCU病棟、産婦人科を含む女性病棟、小児科及び産婦人科外来と、保健所、市町保健センターが連携を図り、ハイリスク児またはハイリスクの可能性のある児の家庭における育児支援体制を円滑にするための情報交換をすることを目的として開催された。（主催：江南厚生病院）

ア 日時

平成24年5月22日（火） 8月28日（火） 11月27日（火） 平成25年2月26日（火）
午後4時～5時

イ 出席者

江南厚生病院（こども医療センター 産婦人科病棟 NICU・GCU 小児科外来
産婦人科外来 医療福祉相談室）

江南保健所

保健センター（岩倉市 江南市 犬山市 扶桑町 大口町）

(6) ドアノッキング事業

子育てに悩み家にひきこもりがちになってしまう乳幼児期の子育て家庭に対し、地域ぐるみで家庭を見守り子育てを支援することで虐待を防止することを目的に、子育て情報のお知らせ等を行うドアノッキング訪問が実施された。（主催：福祉こども課）

ア 訪問時期

生後5～6か月と1歳頃

イ 従事者

主任児童委員

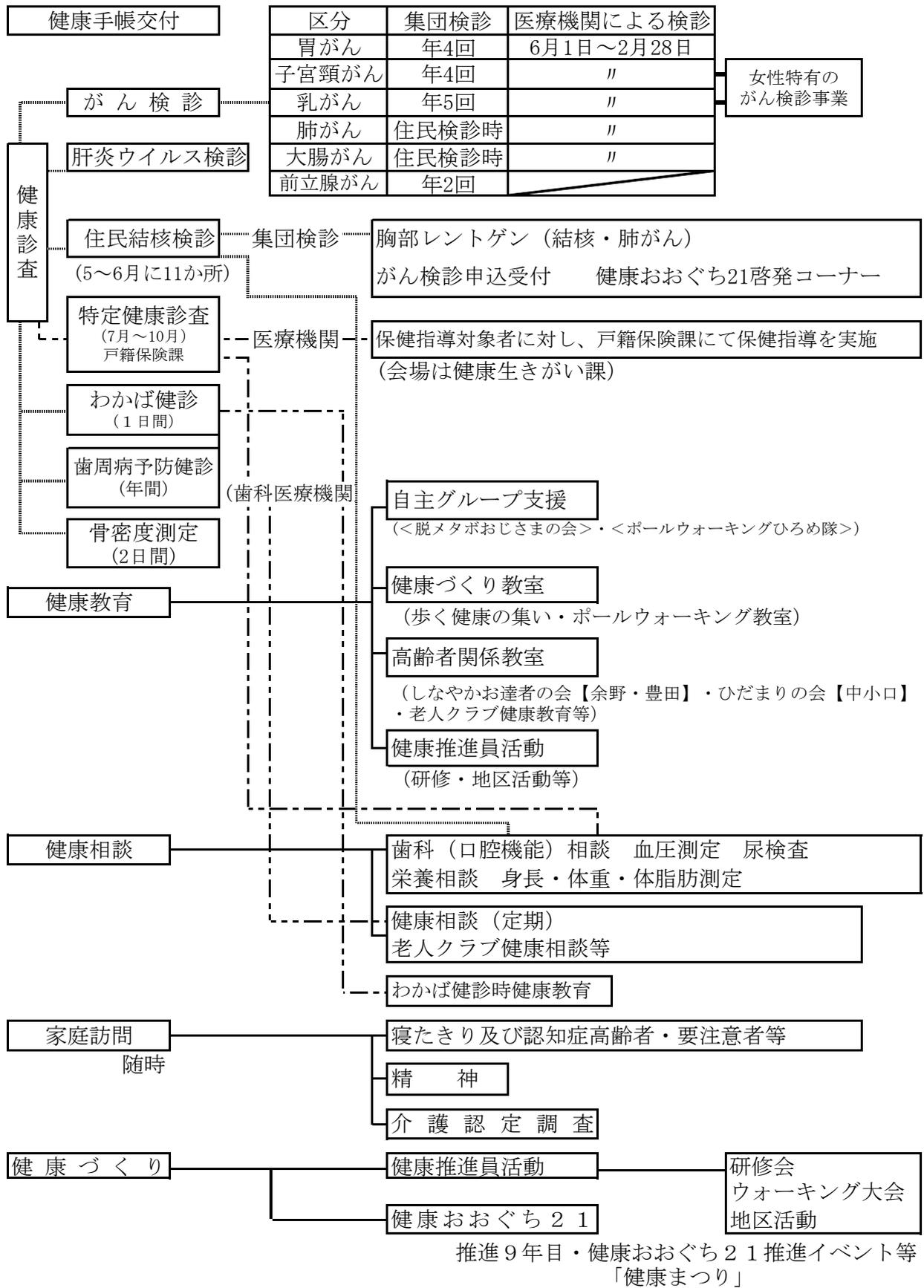
民生委員・児童委員

(7) たんぽぽ広場

たんぽぽ教室を終了した親子が就園するまで継続して地域で療育支援を受けられるよう西児童センターにおいて親子遊びの教室が開催された。（主催：福祉こども課）

3 成人保健活動

成人保健 管理体系



1 成人保健の取り組み

健康増進法に基づき実施する。住民の健康意識の高揚、よりよい健康習慣の定着を図ることにより、健康増進、疾病予防、介護予防などに役立てる。

大口町は、平成5年12月に「健康の町」宣言をし、平成16年3月には大口町の健康づくり計画「健康おおぐち21」を住民と行政とともに策定し、地区住民の意識の高揚と地区活動を積極的に推進してきた。平成24年度は推進9年目にあたり、計画の評価として健康と生活に関するアンケート調査を行った。

＜平成24年度の重点的な取り組み＞

- ① がん検診の受診率向上に向けた取り組み
 - ・新規受診者を増やすため3年間がん検診を受けたことのない人に受診勧奨通知を実施。
 - ・幼稚園・町立保育園の保護者全員に女性のがん検診チラシの配布。
 - ・女性特有のがん検診未受診者に受診勧奨通知（9月・1月）を実施。
 - ・受診しやすい体制整備として複数のがん検診の同日開催を実施。
- ② ポールウォーキングの推進
 - ・国保連合会健康体操普及事業としてポールウォーキング教室（12回）を実施、その後、自主グループの立ち上げの支援を行った。
 - ・健康まつりやさくら並木ジョギングなど様々な機会を通して普及啓発を行った。
- ③ 国保・介護・健康・福祉の各グループの連携した取り組み
 - ・新たに福祉こども課のメンバーを加え、各グループが連携しデータを分析して「血管を守ろう！」をテーマに健康寿命を延ばす取り組みを展開。
 - ・町制50周年にかけて「10年後も元気」を合言葉に2万人体力測定を企画、実施。

2 健康手帳の交付

(1) 目的

健康増進法に基づいて交付。特定健康診査・保健指導の記録、がん検診時などの検診結果や血圧測定値等の健康状態を記入し、自らの健康への意識の向上を図る。

(2) 対象 40歳以上の住民、その他希望者

(3) 日時

- ア 住民検診・がん検診・健康相談・特定健康診査・特定保健指導等
- イ その他随時

(4) 交付状況

(単位：人)

区分	40歳未満	40～64歳	65～74歳	75歳以上	合計
健康手帳	0	2	7	7	16
私の夢をかなえる 健康ノート	2	2	0	0	4

3 特定健康診査・特定保健指導

(1) 目的

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、保険者が被保険者及び被扶養者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための保健指導を必要とする者を抽出する健診を行い生活習慣を改善するための保健指導を行う。

健診受診者全員に対し、必要に応じ階層化された保健指導を提供することにより、生活習慣病のリスク要因の減少を図り、糖尿病等の有病者・予備群を減少させる。

(2) 対象

大口町国民健康保険被保険者（40～74歳）

(3) 実施期間及び実施場所

個別健診 7～10月 大口町・扶桑町の委託医療機関

人間ドック 5～8月 人間ドック委託医療機関

集団健診 平成25年1月19日(土) 大口町保健センター

(4) 特定健診受診者数（平成24年度）

（平成25年3月5日現在）

受診券発行者数	3,637人
特定健康診査受診者数	1,834人

特定健康診査等受診率	50.4%
------------	-------

但し、資格喪失による除外者を含む

(5) 平成23年度 特定健診・特定保健指導 法定報告（平成24年11月報告）

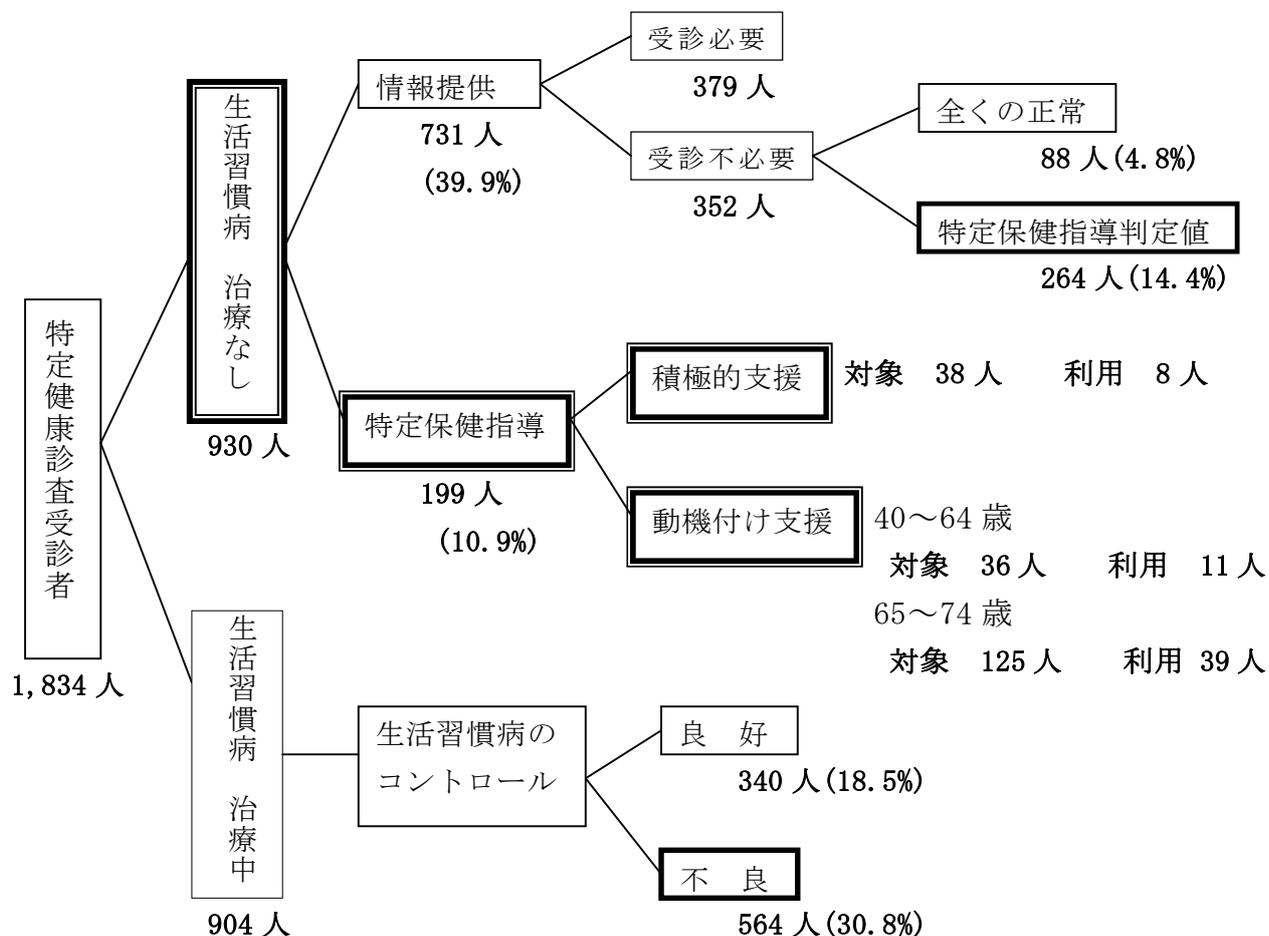
資料：平成23年度 市町村国保特定健診・保健指導実施状況概況報告書より

（単位：％）

	全国	愛知県	大口町
特定健康診査 受診率	32.7	35.8	50.3
特定保健指導 終了率	21.7	14.2	31.3
（積極的支援） 終了率	13.3	7.9	25.7
（動機付け支援） 終了率	25.1	16.5	32.5
内臓脂肪症候群該当者の減少率	—	—	24.6
内臓脂肪症候群該当者	16.5	18.9	17.9
内臓脂肪症候群予備群	10.8	10.0	8.7
高血圧服薬治療中	32.3	34.7	34.7
脂質異常症服薬治療中	20.6	24.2	27.5
糖尿病服薬治療中	6.2	7.4	7.8

(6) 特定保健指導階層化《平成 24 年度受診者》

(資格喪失による除外者を含む 平成 25 年 3 月現在)



(7) 特定保健指導 利用状況《平成 24 年度》

(資格喪失による除外者を含む 平成 25 年 3 月現在)

特定保健指導利用人数				利用者 男女別		保健指導利用率 29.1%
	対象者	利用者	利用率	男性	女性	
動機づけ 40～64 歳	36 人	11 人	30.6%	40 人	18 人	
動機づけ 65 歳以上	125 人	39 人	31.2%	69.0%	31.0%	
積極的	38 人	8 人	21.1%			
全体	199 人	58 人	29.1%			

平成 24 年度 特定保健指導 支援状況

	初回支援 (グループ) 開始	個別 支援 1 か月 目	運動支援 (グループ)	個別支援 面接 2 か月目	個別支援 中間評価 3 か月目	個別支援 電話	評価 6 か月目
23 年度 4 クール目	4 月 9 日	5 月	5 月 23 日	6 月	7 月		10 月 10 日
1 クール目	9 月 26 日	10 月	10 月 22 日	11 月	12 月		3 月 27 日
2 クール目	11 月 14 日	12 月	12 月 5 日	H25. 1 月	2 月		5 月 17 日
3 クール目	H25. 1 月 9 日	2 月	2 月 6 日	3 月	4 月		7 月 19 日
集団特定健診	H25. 1 月 19 日						
4 クール目	H25. 2 月 22 日	3 月	5 月 20 日	6 月	7 月		8 月 22 日

※5 クール目は平成 25 年 4 月から 10 月まで実施する

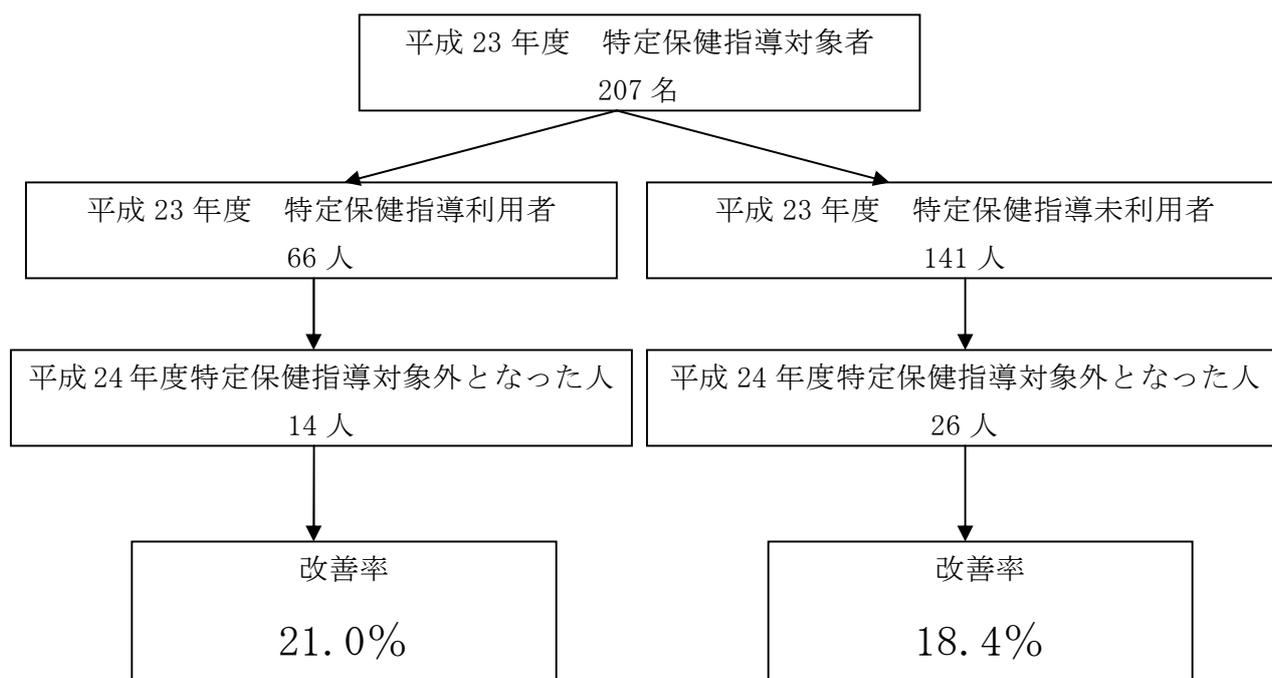
* 江南厚生病院へ特定保健指導委託：7 月～3 月（人間ドック実施者のみ）

(8) 平成 23 年度特定健診を受診した特定保健指導実施者の状況

※終了者（男女別）

	終了者	男性	女性
動機づけ（40～64 歳）	7 人	33 人	33 人
動機づけ（65 歳以上）	43 人		
積極的	9 人		
外部委託（江南厚生病院）	7 人		
合計	66 人		

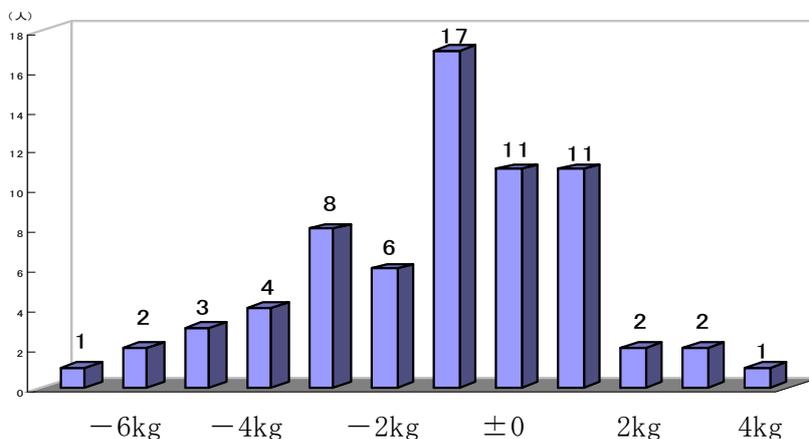
(9) 平成 23 年度特定保健指導の効果



特定保健指導利用者 66 人のうち、初回と最終評価の比較ができた 63 人の変化

	最大	最小	平均
体重の変化	-7.6kg	+4.3kg	-1.1kg
腹囲の変化	-14.2 cm	+6 cm	-0.6 cm

保健指導利用者の体重変化別人数



エ 自己目標の達成状況

(特定保健指導利用者 66 人のうち、保健センターで指導した 59 人についての変化)

	達成	ほぼ達成	できていない
食生活	28 人	18 人	10 人
運動	31 人	15 人	10 人

未回答 3 人

〈からだの変化〉

- ・ 自分でもスマートになったと思う。(2 人)
- ・ 身体が軽くなったように感じる。(2 人)
- ・ 鏡の前で確認したらお腹がへこんでいた。この方がいいな。
- ・ 身体も心も軽くなった。
- ・ 友人からお腹がへこんだと言われるようになりました。
- ・ 身体が軽くなり、行動範囲が広がった。
- ・ 腹囲、体重ともに減ってよかった。
- ・ 身体の調子が良い。

〈こころの変化〉

- ・ とても充実している。
- ・ 食生活に気をつけようと思った。
- ・ 毎日、明日の事を考えるようになった。
- ・ お菓子は買わないように意識するようになった。
- ・ 以前より、気持ちが前向きになった。
- ・ 変化した食習慣が苦痛ではなく身についた。
- ・ 運動と食事に意識をむけるようになった。
- ・ この体重を維持したいと思うようになった。
- ・ いつまでも健康でありたいと思うようになった。
- ・ 少し太ってしまったが、気持ちは前向きになっている。続けていきたいと思う。
- ・ 爽快な気持ちがする。(すっきりした) 2 人

※ 身体的には効果の少なかった利用者においても、こころの変化が得られ、今後も継続して改善していこうという意欲が感じられる。今後の効果に期待したい。

4 各種がん検診

(1) 目的

がんの早期発見に努め、早期治療に結びつけるとともに、がん予防についての知識の普及啓発を行い、健康管理意識の向上を図る。

(2) 実施状況 (町内在住で、勤務先等で検診を受ける機会のない方を対象としている)

区分 項目	集団検診 (保健センター)	医療機関
実施回数 実施機関 及び 実施場所	< 胃 > 年4回 (検診車) < 子宮頸部 > 年4回 (検診車) < 乳 MMG > 年3回 (検診車) < 乳超音波 > 年3回 < 前立腺 > 年2回 < 大腸 > 住民検診時とがん検診時に検体採取容器を配布 < 肺 > 胸部X線 (結核肺がん検診と兼ねる) 喀痰 (結核肺がん検診時に検体採取容器を配布)	平成24年6月1日から、 平成25年2月28日までの町内委託 医療機関の診療時間内 * (平成21年度より) 乳・子宮頸 がん検診委託医療機関を1か所 から3か所に拡大
申込方法	・保健センターへ電話 ・結核肺がん検診会場で受付	各医療機関の窓口にて
自己負担	< 胃 > 1,000円 < 子宮頸部 > 800円 < 乳 MMG > 1,000円 < 乳超音波 > 700円 < 前立腺 > 300円 < 大腸 > 400円 < 肺 > X線のみ 無料 X線+喀痰 300円	< 胃 > 2,000円 < 子宮頸部 > 1,000円 < 乳 MMG > 1,500円 < 大腸 > 500円 < 肺 > X線のみ 500円 X線+喀痰 1,500円

(3) 検診内容及び受診対象年齢

種類	内 容	受診対象年齢
胃	胃部X線撮影	20歳以上
子宮頸部	視診・細胞診	20歳以上
乳 (個別)	視触診・MMG (X線検査)	40歳以上
(集団)	視触診・健康教育 (自己検診法)	40歳以上 20~39歳
	MMG (X線検査) 超音波 (集団のみ)	
大腸	便潜血反応試験による2日間採便法	20歳以上
肺	胸部X線撮影・喀痰検査	20歳以上 (集団検診は40歳以上)
前立腺 (集団のみ)	血液検査 (PSA検査)	50歳以上

(4) 年度別実施状況

ア 胃がん

(単位：人・%)

	年度	対象者	受診者数			受診率	結 果				精検結果(再掲)			
			集 団	医療機関			異常なし	要観察	要精検	判定不能	異常なし	が ん	がん以外の疾患	未受診・未把握
40歳以上	20	4,713	374	191	183	7.9	281	37	56	0	13	1	32	10
	21	4,719	419	189	230	8.9	303	57	58	1	14	0	34	10
	22	4,725	420	199	221	8.9	321	41	58	0	15	0	41	2
	23	4,725	453	227	226	9.6	336	61	56	0	9	0	45	2
	24	4,725	483	258	225	10.2	357	60	66	0	13	1	42	10
40歳未満	20	—	24	14	10	—	16	5	3	0	1	0	2	0
	21	—	16	14	2	—	15	1	0	0	0	0	0	0
	22	—	18	12	6	—	15	1	2	0	1	0	1	0
	23	—	22	19	3	—	20	2	0	0	0	0	0	0
	24	—	31	27	4	—	24	4	3	0	0	0	1	2
計	20	—	398	205	193	—	297	42	59	0	14	1	34	10
	21	—	435	203	232	—	318	58	58	1	14	0	34	10
	22	—	438	211	227	—	336	42	60	0	16	0	42	2
	23	—	475	246	229	—	356	63	56	0	9	0	45	2
	24	—	514	285	229	—	381	64	69	0	13	1	43	12

イ 大腸がん

(単位：人・%)

	年度	対象者	受診者数			受診率	結 果			精検結果(再掲)				
			集 団	医療機関			異常なし	要再検	要精検	異常なし	が ん	がん以外の疾患	疑い	がんの
40歳以上	20	4,713	595	264	331	12.6	547		48	14	2	26	0	6
	21	4,719	686	289	397	14.5	641		45	12	4	20	1	8
	22	4,725	734	308	426	15.5	694		40	16	3	18	0	3
	23	4,725	971	434	537	20.6	901		70	21	2	35	0	12
	24	4,725	881	377	504	18.6	812		69	15	1	39	0	14
40歳未満	20	—	21	6	15	—	20		1	1	0	0	0	0
	21	—	12	9	3	—	12		0	0	0	0	0	0
	22	—	22	15	7	—	21		1	1	0	0	0	0
	23	—	59	57	2	—	58		1	1	0	0	0	0
	24	—	29	26	3	—	26		3	2	0	0	0	1
計	20	—	616	270	346	—	567	0	49	15	2	26	0	6
	21	—	698	298	400	—	653	0	45	12	4	20	1	8
	22	—	756	323	433	—	715	0	41	17	3	18	0	3
	23	—	1030	491	539	—	959	0	71	22	2	35	0	12
	24	—	910	403	507	—	838	0	72	17	1	39	0	15

ウ 子宮頸がん検診

(単位：人・%)

	年度	対象者	受診者数			受診率	結 果			精検結果（再掲）					
			集 団	医 療 機 関			異常なし	その 他 の 疾 患	要 精 検	異常なし	異 形 成	が ん	が ん 以 外 の 疾 患	保 留	未 受 診 未 把 握
20歳以上	20	4,314	358	298	60	8.3	271	87	0	0	-	0	0	-	0
	21	4,304	587	276	311	13.6	517	67	3	0	-	0	3	-	0
	22	4,301	668	313	355	15.5	541	116	12	2	6	0	0	2	2
	23	4,301	855	316	539	19.9	756	74	25	11	10	0	0	1	3
	24	4,301	750	277	473	17.4	690	45	15	2	6	1	0	0	6

*平成23年度から妊婦健診時の子宮頸がん検診を含む。

*平成23年度、平成24年度ともに20歳未満の妊婦2名含む

エ 乳がん検診

(単位：人・%)

	年度	対象者	受診者数			受診率	結 果			精検結果（再掲）			
			集 団	医 療 機 関			異常なし	要 観 察	要 精 検	異常なし	が ん	が ん 以 外 の 疾 患	未 把 握
40歳以上	20	3,125	274	231	43	8.8	240	0	34	18	0	12	4
	21	3,115	506	243	263	16.2	451	0	55	21	0	19	15
	22	3,112	511	245	264	16.4	448	0	61	29	1	17	14
	23	3,112	542	266	276	17.4	484	0	58	26	2	13	17
	24	3,112	563	282	281	18.1	492	0	71	46	2	17	6
30歳～39歳	20	—	71	71	0	—	60	1	5	0	0	3	2
	21	—	82	82	0	—	67	3	10	5	0	5	0
	22	—	68	68	0	—	49	12	7	1	0	3	3
	23	—	80	80	0	—	61	11	8	6	0	2	0
	24	—	83	83	0	—	78	0	5	1	0	1	3
合計	20	—	274	231	43	—	240	0	34	18	0	12	4
	21	—	577	314	263	—	511	1	60	21	0	22	17
	22	—	593	327	264	—	515	3	71	34	1	22	14
	23	—	622	346	276	—	545	11	66	32	2	15	17
	24	—	646	365	281	—	570	0	76	47	2	18	9

オ 乳がん・子宮頸がん検診 クーポン利用者再掲

(単位：人・%)

	年 度	対 象 者	受診者数			受診率
			集 団	機 関 医 療		
乳がん	21	742	180	47	133	24.3
	22	748	255	66	189	34.1
	23	707	232	74	158	32.8
	24	713	237	84	153	33.2

(単位：人・%)

	年 度	対 象 者	受診者数			受診率
			集 団	機 関 医 療		
子宮頸がん	21	831	174	22	152	20.9
	22	693	210	33	177	30.3
	23	724	217	41	176	30.0
	24	738	200	73	127	27.1

カ 肺がん検診

(単位：人・%)

	年度	対象者	受診者数						受診率	結 果			精検結果（再掲）				
			集団		医療機関		精検不要	要精検		異常なし	がん（悪性）	がんの疑い	がん以外の疾患	経過観察	未受診・未把握		
			X線及び喀痰	X線のみ	X線及び喀痰	X線のみ		肺がん以外の疾患								肺がんの疑い	
40歳以上	20	4,713	804	27	459	27	291	17.1	761	36	7	3	0	0	1	-	3
	21	4,719	957	34	536	19	368	20.3	937	14	13	6	1	0	5	-	1
	22	4,725	937	17	515	36	369	19.8	913	16	8	6	1	0	6	5	6
	23	4,725	1,061	17	528	41	475	22.5	1,039	6	16	5	3	0	2	2	4
	24	4,725	948	17	415	23	493	20.1	929	8	11	6	1	0	8	1	3
40歳未満	20	—	10	0	0	1	9	—	9	0	1	0	0	0	1	-	0
	21	—	8	0	0	2	6	—	8	0	0	0	0	0	0	-	0
	22	—	8	0	0	0	8	—	8	0	0	0	0	0	0	0	0
	23	—	7	0	0	0	7	—	7	0	0	0	0	0	0	0	0
	24	—	5	0	0	1	4	—	5	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	—	814	27	459	28	300	—	770	36	8	3	0	0	2	-	3
	21	—	965	34	536	21	374	—	945	14	13	6	1	0	5	-	1
	22	—	945	17	515	36	377	—	921	16	8	6	1	0	6	5	6
	23	—	1,068	17	528	41	482	—	1,046	6	16	5	3	0	2	2	4
	24	—	953	17	415	24	497	—	934	8	11	6	1	0	8	1	3

キ 前立腺がん検診

(単位：人・%)

年度	対象者	受診者（集団）	受診率	結 果			精検結果（再掲）					
				異常なし	要再検	要精検	異常なし	が ん	が ん の 疑 い	前 立 腺 肥 大	そ の 他	未 把 握
20	1,507	82	5.4	75	0	7	1	4	0	0	2	0
21	1,523	80	5.3	72	0	8	4	1	0	1	1	1
22	1,532	152	9.9	143	0	9	3	2	1	0	3	0
23	1,532	130	8.5	120	0	10	2	1	0	3	1	3
24	1,532	154	10.1	145	0	9	4	1	0	2	0	2

※がん予防効果を高めるために、要精検者のうち受診結果が返送されない方について
受診2か月後に医療機関に受診状況を確認。未受診者の方には、受診勧奨を行った。

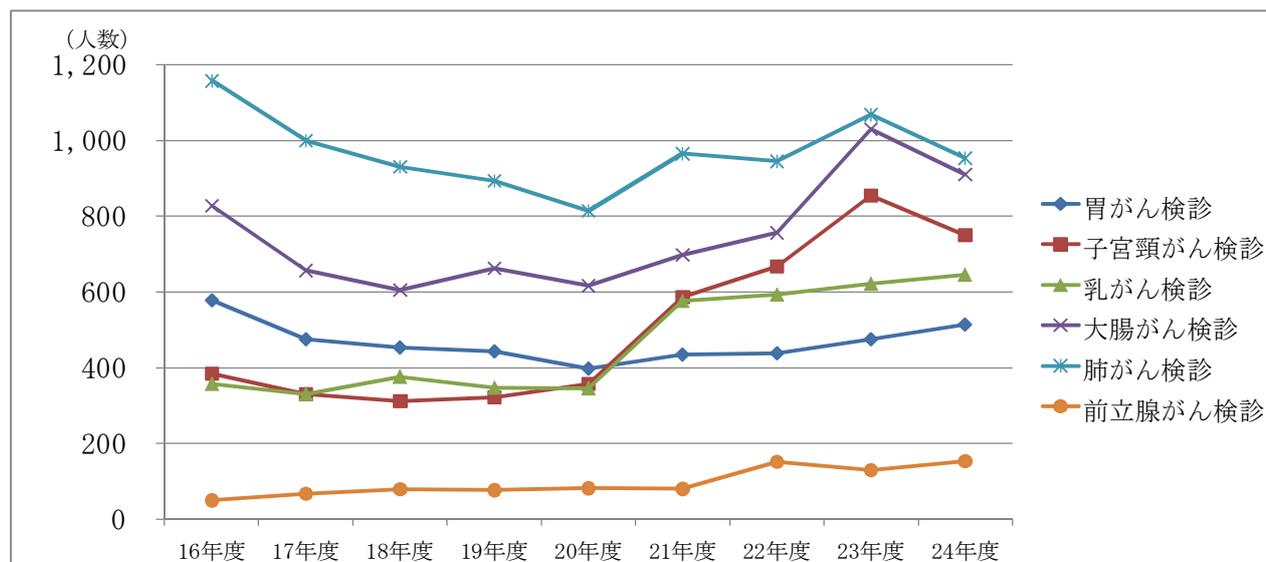
※各検診の受診者中の要精検率と、精検者のうちの精検受診率

	要精検率	精検受診率
胃がん検診	13.4%	84.8%
大腸がん検診	5.4%	78.3%
子宮頸がん検診	1.6%	66.7%
乳がん検診	11.8%	92.5%
肺がん検診	2.0%	84.2%
前立腺がん検診	5.9%	77.8%

(5) がん検診受診者数の推移

(単位：人)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
胃がん検診	578	476	453	443	398	435	438	475	514
子宮頸がん検診	384	331	312	322	358	587	668	855	750
乳がん検診	357	330	375	347	345	577	593	622	646
大腸がん検診	828	657	605	663	616	698	756	1,030	910
肺がん検診	1,157	1,000	931	893	814	965	945	1,068	953
前立腺がん検診	50	68	79	77	82	80	152	130	154
合計	3,354	2,862	2,755	2,745	2,613	3,342	3,552	4,180	3,927



【平成16年度】 乳がん検診を集団にてMMG開始（自己負担徴収） 前立腺がん検診開始

【平成17年度】 各種がん検診自己負担徴収 医療機関での乳がん検診（MMG）開始

【平成18年度】 住民結核検診対象者が40歳以上になる

【平成19年度】 乳がん検診を集団にて、30～39歳超音波・視触診を開始
 （乳がん検診医療機関での視触診のみを廃止）

【平成20年度】 特定健診開始

【平成21年度】 女性特有のがん検診事業開始（H22.9月～23.3月末）
 子宮頸がん・乳がん検診の委託医療機関を拡大（犬山中央病院 江南厚生病院を加える）
 国保人間ドックのオプションとして町の女性のがん検診を組み入れる

【平成22年度】 女性特有のがん検診事業（H22.5月～23.3月末） *対象者は先行予約受付をする
 成人の日にごがん検診啓発チラシを同封
 健康まつりにてがんの啓発
 女性特有のがん検診未受診者通知（1月）

【平成23年度】 集団大腸がん検診の申し込みを胃がん・子宮頸がん・乳がん検診時に実施（年9回）
 健康推進員活動にごがんの予防・啓発を実施
 妊婦健診の子宮がん検診をごがん検診として計上

【平成24年度】 新規受診者を増やすため3年間がん検診を受けたことのない人に葉書による受診勧奨を実施
 幼稚園・保育園の保護者全員に女性のがん検診チラシの配布
 女性特有のがん検診未受診通知（9月・1月）
 受診しやすい体制整備として複数のがん検診の同日開催を実施

5 結核・肺がん検診

(1) 目的

感染症法に基づき、定期的に結核健康診断を実施することにより、結核の早期発見・早期治療につなげることを目的とする。

また、疾病予防・健康づくりに関する知識の普及・啓発を行う。

(2) 対象

40歳以上で、会社・学校等に勤務していない方

(3) 実施日

平成24年5月28日(月)・29日(火)・31日(木) 6月1日(金) 4日間

(4) 内容

胸部レントゲン検査(間接撮影)(肺がん検診を兼ねる)、健康おおくち21啓発
*各地区健康推進員・健康クラブ「笑顔21」のメンバーの協力のもと実施

(5) 実施状況

ア 年度別年齢別受診者状況

(単位：人)

年度 \ 年齢	受診者数	40～49	50～59	60～69	70以上
20	486	40	49	229	168
21	570	35	55	270	210
22	532	34	37	232	229
23	545	41	36	236	232
24	432	34	29	148	221

イ 胸部レントゲン検査結果(異常所見ありの内訳)

結果	人数
要観察者	31人
要精検者	10人 精密検査結果 異常なし4人 経過観察1人 肺がん1人 その他の疾患3人 未受診1人

6 わかば健康診査

(1) 目的

20・30歳代の若い年代で健診を受ける機会のない方を対象とし、生活習慣病の早期発見および生活習慣の改善に向けた指導を行い、予防意識の向上を図る。健康相談を通して日常生活を見直し、健康の保持増進を図る。

(2) 対象 町内在住の20・30歳代の住民で健診を受ける機会のない方

(3) 日時 平成25年1月19日(土) 午前9時～11時30分

(4) 健診方法及び内容

健康教育(メタボリックシンドロームについて)

身長・体重・腹囲測定、血圧測定、尿検査、血液検査

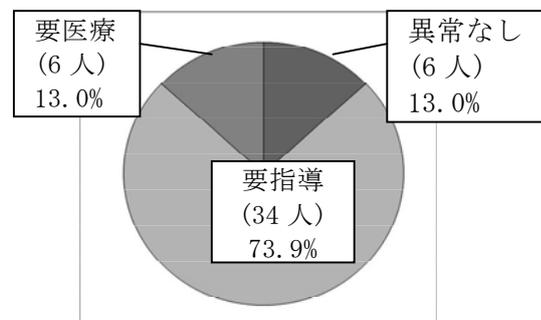
(5) 従事者 保健師 管理栄養士 事務員 委託機関

(6) 実施結果

ア 年齢別受診者数 (単位：人)

年度	男		女		合計
	20歳代	30歳代	20歳代	30歳代	
19	3	7	17	87	114
20	1	2	9	97	109
21	1	4	19	88	112
22	1	3	16	79	99
23	0	2	6	31	39
24	0	0	7	39	46

イ 総合判定



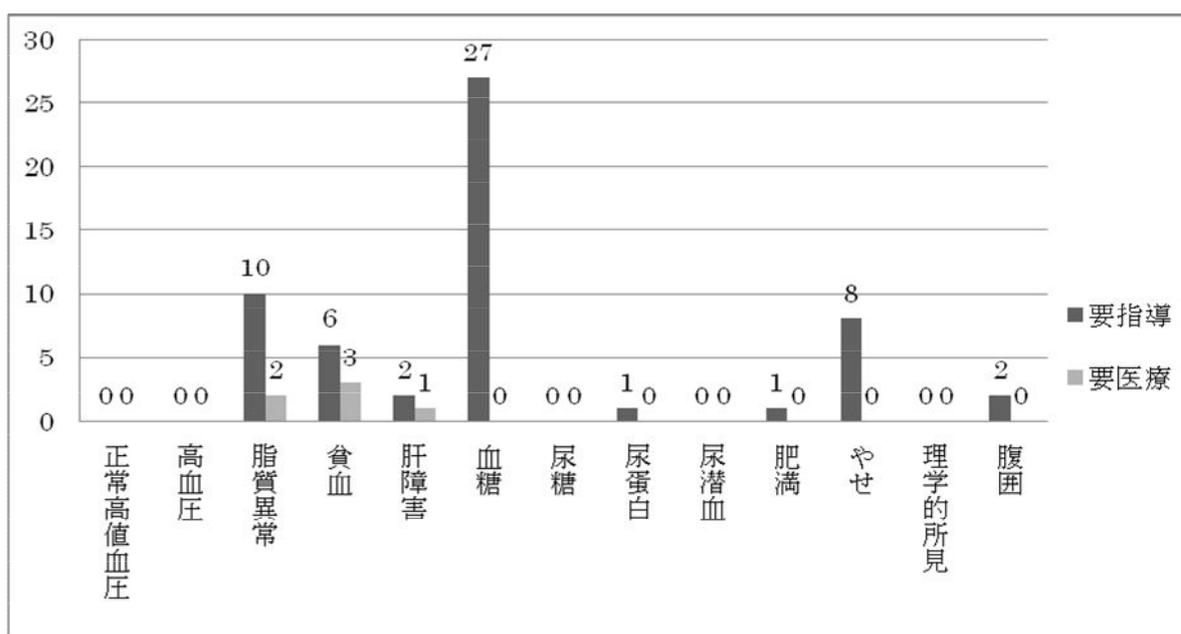
ウ 要指導・要医療の疾病分類 (延べ数)

(単位：人)

年度	正常高値血圧	高血圧	脂質異常	貧血	肝障害	血糖	尿糖	尿蛋白	尿潜血	肥満	やせ	理学的所見	腹囲
19	6	3	37	12	5	7	2	0	4	8	24	4	8
20	4	2	37	19	8	4	1	0	1	8	32	1	2
21	5	4	25	32	6	27	0	3	9	3	27	0	4
22	7	0	26	22	8	22	1	1	3	5	17	10	2
23	1	0	9	1	1	15	0	2	0	1	6	1	2
24	0	0	12	9	3	27	0	1	0	1	8	0	2

※平成24年度はその他として、BUN高値1人。

エ 平成24年度 疾患別 要指導・要医療判定分類（延べ人数）



7 肝炎ウイルス検診

(1) 目的

健康増進法に基づき、肝炎対策の推進の観点から、住民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導等を受け、医療機関に受診することにより、肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し、進行を遅延させることを目的とする。

(2) 対象

満40歳の者（年度末年齢）

満41歳以上で過去に当該肝炎ウイルス検診に相当する検診を受けたことがなく、検診を希望する者

(3) 実施場所 大口町・扶桑町の委託医療機関

(4) 実施期間 平成24年7月1日～10月31日

(5) 内容 問診、C型肝炎ウイルス検査、HBs抗原検査

(6) 実施状況

項目	受診者	HBs抗原検査		C型肝炎ウイルス検査	
		陰性	陽性	現在、C型肝炎ウイルス(HCV)に感染していない可能性が極めて高い	現在、C型肝炎ウイルス(HCV)に感染している可能性が極めて高い
40歳	39	39	0	39	0
その他の年齢	9	9	0	9	0
計	48	48	0	48	0

8 骨密度測定

(1) 目的

骨粗鬆症は寝たきりの原因となる骨折の基礎疾患となるため、早期に骨量の減少者を発見し、骨粗鬆症予防の動機づけを行なう。また、「健康おおぐち21（生活習慣病予防分野）」の推進の一つとして、節目となる年齢を機会に自分の骨密度を知ることによって健康意識の高揚を促し、骨量を増やす生活習慣を実践へと結びつける。

(2) 対象

町内在住の節目年齢の女性及び一般住民(定員各日90人)

※「節目年齢」とは、平成25年3月31日をもって40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の女性を意味し、以下「節目者」とする。

(3) 周知方法

広報おおぐち、広報無線、各事業時にチラシによる啓発

(4) 日時

平成24年6月13日（水）・平成24年10月1日（月） 午前9時30分～午後3時30分

(5) 方法

超音波法による かかと部の骨密度測定

(6) 従事者

保健師 管理栄養士 事務員 委託機関（検査技師）

(7) 実施結果

ア 受診者の内訳（単位：人）

性別	節目	一般	合計
女	59	119	178
男	1	17	18
合計	60	136	196

イ 受診結果（単位：人）

	受診者	異常なし	要観察	要指導	要精検
39歳以下	6	3	3	0	0
40歳代	34	13	14	7	0
50歳代	34	22	5	6	1
60歳代	60	26	0	27	7
70歳以上	62	26	0	23	13
合計	196	90	22	63	21

骨密度は女性ホルモンエストロゲンに左右され、更年期以降の異常は増えている。妊娠出産の影響は証明されていないが、遺伝要素もあるといわれる。39歳以下でも、骨密度の低い方の割合が高い。チラシを用いて機会をとらえた啓発をしていく。

9 健康教育

健康教育は、住民の健康意識を高め、より良い生活習慣の定義を図ることにより、健康増進・疾病予防・寝たきり予防などに役立てることを目的としている。

健康おおぐち 21 計画の推進をベースに、中間評価に基づき、健康づくりをしやすいまちづくりを目指すとともに健康おおぐち 21 計画の目標に沿った具体的な取り組みを推進した。

生活習慣病予防については健康推進員地区活動時や各団体からの要請時のテーマとして取り上げ、血圧・脂質・歯周病等についてさまざまな場で周知・啓発を行い、生活習慣の見直し・改善の機会となるよう事業展開を行った。また、高齢者については、お口の健康についての啓発を中心に行った。

(1) ポールウォーキング教室

(国保連合会健康体操普及事業により、戸籍保険課と共同開催)

ア 目的

「より短時間で、効果的なウォーキング方法」として、ポールウォーキングを町民の健康づくりや疾病予防に役立てることを目的とする。

イ 対象

住民

ウ 実施期間及び場所 平成24年5月9日(水)～8月8日(水)(全12回コース)

保健センター1階 多目的室

エ 従事者 講師(健康運動指導士)・保健師

※健康ワンポイントアドバイスの内容により、管理栄養士・歯科衛生士も講話を行なった。

オ 内容 ポールウォーキング講義と実技(歩行測定、ポールエクササイズ)
健康ワンポイントアドバイス(12回中10回:実技開始前の10分間)

(単位:人)

実施月日	健康ワンポイントアドバイスの内容	参加人数
5月16日	血管を守ろう	27
5月30日	がん検診のお知らせ	37
6月6日	歯周病予防 歯の健康センターのお知らせ	35
6月20日	特定健診のお知らせ	29
6月27日	野菜を一日両手3杯食べよう	25
7月4日	アルコールの適量	29
7月11日	熱中症にならないために	25
7月18日	運動の効果	28
7月25日	受動喫煙防止	23
8月1日	大口町の高齢者福祉サービスについて	26
合計 10回		284

※参加者及びサポーターを参加人数とした。

カ 参加状況

- (ア) 参加者数 実人数 29人 (男:7人 女:22人) (延べ参加者数:241人)
(サポーター 実人数21人 サポーター延べ参加者数70人)
- (イ) 参加者の年齢構成 40歳代:3人 50歳代:1人
60歳代:16人 70歳代:9人

キ まとめ

参加者の7割の方が10回以上の出席であり、初回と終回時に計測ができた21人全員が、体重・BMI・体脂肪・腹囲・血圧いずれかが改善していた。

また、教室前後でおこなったアンケートでは、参加者の7割の方が教室参加目的(運動不足の解消、健康づくり等)が達成でき、体調や姿勢が良くなった、気分が明るくなった、健康について考えるようになった、体を動かすようになった等、自覚的変化もあったと回答している。

全体的に、教室を通して参加者の健康意識が高まり、自主活動発足や、個人での健康づくりの継続意志など健康行動への変容が見られた。

(2) わかば健康診査 結果説明会

ア 目的

わかば健康診査を実施後、生活習慣の改善が必要または医療機関受診が必要と判定された人に生活習慣の改善に向けた指導を行い、生活習慣の見直しと健康の維持増進の意識を高めることを目的とする。

イ 対象

平成24年度わかば健診受診者46人のうち、脂質異常またはHbA1cの値が要生活習慣改善・要医療機関受診者32人

ウ 日時 平成25年3月8日(金)・12日(火) 午前10時～午前11時30分

エ 参加者 9人(子ども5人)(他、個人面談1人、電話相談2人)

オ 実施内容 結果の見方・運動の話・筋力アップ体操の実施・栄養の話

カ 従事者 保健師 管理栄養士

キ まとめ

血液検査結果をレーダーチャートに落とし、運動や食生活などの生活習慣を振り返ることで自分の改善するポイントをそれぞれが見出し、今日から始める運動や食生活の目標を決めることができた。参加者の多くは運動不足、不規則な食事や間食、甘い食べ物などに該当していた。

子どもを連れて参加する人が多く、子どもを見るスタッフが必要であった。

(3) 要請による健康教育

(単位：人)

事業名 (依頼団体)	実施月日	実施内容	参加人数
さつきヶ丘ちとせ会	4月17日	介護保険料の改訂と高齢者福祉について 血管を守ろう・ロコモ	21
大屋敷区 高齢者ふれあいの会	5月8日	ロコモティブシンドローム予防について	80
保育園	4回	おやつの質・量について、親子の食事量の目安について	314
河北グリーンファーム	6月15日	熱中症について	7
保育園の調理員	10月25日	アレルギー児への対応	10
株式会社 いずみ	11月16日	社員研修 伸ばそう健康寿命 ～血管を守ろう～	120
大口町ボランティア 連絡協議会	3月8日	食育について	15
脱メタボおじさまの会	4月5日	計測結果と特定健診結果の指導	13
元気会 (さつきヶ丘)	年4回	介護予防の講話 血圧測定	102
健康クラブ笑顔 21 各部会	随時	健康おおぐち21推進	192
	4月20日	自分の適量を知ろう	19
	8月17日	塩分について	20
	1月18日	食品中の油脂含有量と適量について	24

(4) 健康教育のまとめ

(単位：回・人)

区分 事業	事業名	対象	開催 回数	参加延人数
年間 計画 による 事業	健康推進員研修会	健康推進員	6	267
	ウォーキング大会	一般住民	1	403
	わかば健診時健康教育	20歳から39歳	1	46
	歩く健康のつどい	一般住民	22	274
	健康まつり	一般住民	1	1,350
	ポールウォーキング教室	一般住民	10	284
	ポールウォーキング自主活動	一般住民	28	370
	町職員研修	職員	4	281
	10歳若返るいきいきウォーキング	一般住民	1	227
	合 計		74	3,502
要 請 に よ る 事 業	健康推進員活動（各地区）	地区住民	11	342
	健康クラブ笑顔21 各部会	健康クラブ笑顔21	12	192
	ハッピースマッピー健康教室	健康クラブ笑顔21 及び一般住民	3	63
	脱メタボおじさまの会	会員	1	13
	元気会（さつきヶ丘区）	会員	4	102
	さつきヶ丘ちとせ会	会員	1	21
	大屋敷区 高齢者ふれあいの会	会員	1	80
	秋田区 老人クラブ	会員	1	57
	下小口区 老人クラブ	会員	1	137
	豊田区 老人クラブ	会員	2	65
	食育講演会	保育園児の親	4	314
	大口町ボランティア連絡協議会	会員	1	17
	株式会社いずみ 社員研修	社員等	1	120
	アレルギー児への対応	保育園の調理員	1	10
合 計		44	1,533	
健 康 教 育 合 計			118	5,035

10 健康相談

健康相談事業は、住民が抱えている健康問題に対して、生活習慣改善を中心に実施している。定例の健康相談（毎週金曜日）に加えて、随時電話相談や健康相談、また健康教育時に相談を行い、より住民の健康的な生活を支援できるよう努めている。

(1) 健康相談

ア 目的

健康相談（電話・面接）を通して日常生活の不安を取り除いたり、見直すことで、健康の保持増進につなげる。

イ 対象

一般住民

ウ 従事者

保健師 看護師 管理栄養士 歯科衛生士

エ 実施状況

金曜日健康相談（実施回数 45回）・（随時）

(ア) 電話相談

主な内訳	件数
幼児・乳児	120件
予防接種	139件
栄養	6件
精神	49件

(イ) 面接相談

主な内訳	件数
生活習慣病	18件
その他の疾患	25件
母子関係	95件
栄養	103件
予防接種	3件

(2) 健康教育時健康相談

教室名	実施回数	延べ人数
ひだまりの会（中小口）ボランティアを含む	23回	255人
しなやかお達者の会（余野）	24回	363人
しなやかお達者の会（豊田）ボランティアを含む	24回	229人
元気会（さつきヶ丘）	4回	102人
ポールウォーキング教室	12回	280人
合計	87回	1,229人

11 介護予防事業

要介護の発生の予防または要介護状態になるのを遅らせるために効果のある教室を実施する。

(1) 地域での介護予防

ひだまりの会（中小口）・しなやかお達者の会（余野・豊田）

ア 目的

教室に参加することにより、筋力低下や転倒を防ぎ、身体機能全般の維持・向上を図る。また、参加者同士の交流等により心身の活性化を図る。

介護予防地域支援事業の一般高齢者施策として実施。

イ 対象者

高齢者

ウ 日時及び場所

毎月 第2・4金曜日 午前9時30分～12時 中小口地区コミュニティーセンター

毎月 第2・4火曜日 午前9時30分～12時 余野学習等共同利用施設

毎月 第1・3火曜日 午前9時30分～12時 豊田学習等共同利用施設

エ 従事者

余野：健康運動指導士(年2回)・保健師・ボランティア・町職員

中小口：健康運動指導士(年2回)・保健師・ボランティア・町職員

豊田：健康運動指導士(年2回)・看護師・ボランティア・町職員

*豊田はハートフル大口・看護師に委託

オ 実施状況

地区	回数	参加実人数		参加延人数		平均参加者数	
		対象者 (再掲 新規参加者)	ボラン ティア	対象者	ボラン ティア	対象者	ボラン ティア
余野	24回	25人(0人)	2人	323人	40人	13.5人	1.7人
豊田	24回	11人(2人)	3人	164人	65人	6.8人	2.7人
中小口	23回	10人(2人)	6人	144人	111人	6.3人	4.8人

余野：筋トレ中心にレクリエーションも加え実施。

豊田：平成20年から健康推進員活動の一環として推進員が参加している。

中小口：一年間の計画を立て、ボランティア中心に実施している。
七夕飾り、しめ縄作りなどの季節の行事やレクリエーションを交え、仲間同士楽しく交流している。

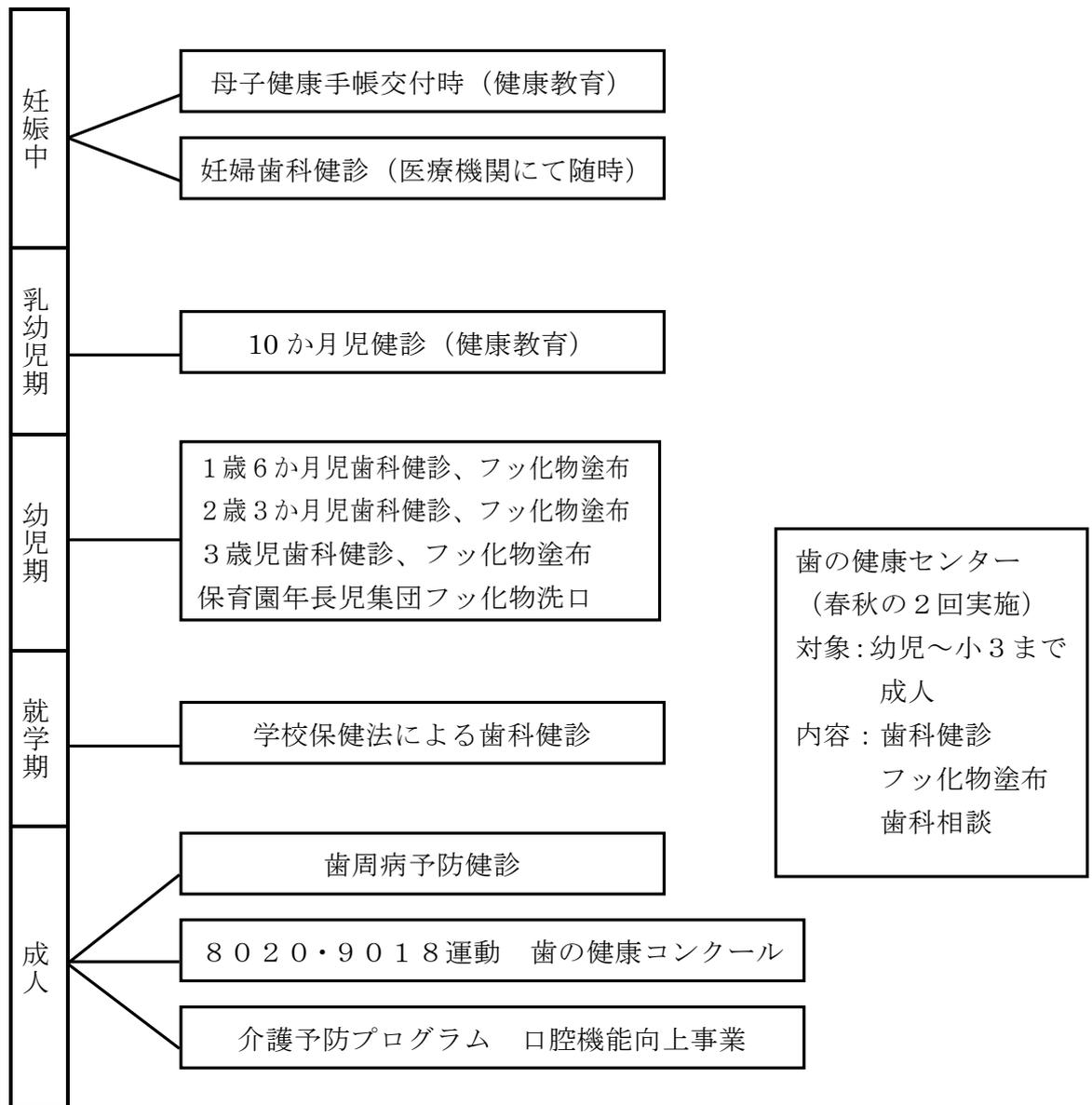
4 齒科保健活動

1 歯科保健事業の取り組み

食事を十分に咀嚼し、健康で豊かな生活を維持するには、妊娠期からの歯科保健への取り組みが重要である。

健康おおぐち 21 の歯の目標である「いつまでも自分の歯で食べよう」「いつまでも明るく歯を出して笑おう」に向け、健康と歯のつながりを意識した取り組みを継続している。また、高齢者への健康教育を充実させ、一般住民の方と一緒に歯周病予防と介護予防の啓発をした。

歯科保健管理体系



* 必要、要望に応じ随時健康教育実施

2 幼児期歯科健康診査

(1) 目的

歯牙が形成される乳幼児期に、歯の大切さと正しい衛生習慣を身につけるとともに、歯科健診・フッ素塗布を行い、虫歯予防に努める。

(2) 内容

歯科健診、フッ素塗布、個別指導、染め出し、健康教育（ブラッシング法、生活リズムを整えて虫歯予防を啓発）を実施。なお、染め出しと健康教育は2歳3か月児歯科健診のみで実施。

(3) 結果

ア 1歳6か月児健診時歯科健診

(単位：人・％・本)

種別 年度	対象者数	受診児数	受診結果					虫歯罹患状況			フッ素塗布者数	その他の要指導	
			O1	O2	A	B	C	虫歯有病者数(率)	虫歯本数			菌列咬合	その他
									総数	一人あたり			
20	261	257	74	172	11	0	0	11(4.3)	27	0.11	254	18	11
21	246	241	74	164	2	1	0	3(1.2)	14	0.06	237	28	53
22	244	238	81	153	3	1	1	5(2.1)	12	0.05	231	17	59
23	208	203	68	131	4	0	0	4(1.9)	8	0.04	198	17	63
24	248	242	88	153	1	0	0	1(0.4)	4	0.02	233	21	42

イ 2歳3か月児歯科健診

(単位：人・％・本)

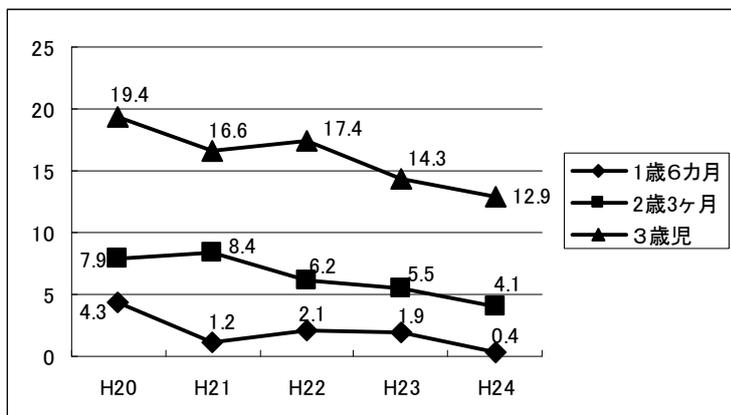
種別 年度	対象者数	受診児数	受診結果					虫歯罹患状況			フッ素塗布者数	その他の要指導			
			O1	O2	A	B	C	虫歯有病者数(率)	虫歯本数			指しゃぶり	菌列咬合	その他	
									総数	一人あたり					処置歯数
20	253	229	29	182	16	1	1	18(7.9)	47	0.2	0	226	12	32	43
21	253	238	31	187	18	2	0	20(8.4)	48	0.2	2	233	8	28	38
22	248	226	43	168	13	0	1	14(6.2)	31	0.1	1	222	10	21	54
23	219	199	57	131	8	2	1	11(5.5)	25	0.1	14	195	32	32	40
24	231	216	57	150	8	1	0	9(4.1)	32	0.1	1	208	40	21	38

ウ 3歳児健診時歯科健診

(単位：人・％・本)

種別 年度	対象者数	受診児数	受診結果					虫歯罹患状況			フッ素塗布者数	その他の要指導			
			O	A	B	C1	C2	虫歯有病者数(率)	虫歯本数			指しゃぶり	菌列咬合	その他	
									総数	一人あたり					処置歯数
20	229	216	174	30	10	0	2	42(19.4)	137	0.6	2	211	4	24	47
21	265	260	217	27	11	0	5	43(16.6)	151	0.6	13	250	16	37	55
22	232	218	180	31	2	0	0	38(17.4)	104	0.5	2	211	8	25	50
23	248	251	215	27	7	1	1	36(14.3)	100	0.4	12	240	33	38	13
24	213	208	181	17	10	0	0	27(12.9)	95	0.5	7	202	6	27	34

エ 健診別虫歯保有率の推移



<う蝕罹患型>

- O1 : う蝕がなく、かつ口の中の状態がよいもの
- O2 : 今う蝕はないが、将来う蝕になりそうなもの
- A : 上顎前歯部のみ、または臼歯部にう蝕のあるもの
- B : 上顎前歯部及び臼歯部にう蝕のあるもの
- C1 : 下顎前歯部のみにう蝕のあるもの
- C2 : 下顎前歯部を含み、他部位にう蝕のあるもの

3 フッ化物洗口説明会

(1) 目的

保育園では年長児にフッ化物洗口を実施している。健康生きがい課ではその前学年である年中児とその保護者を対象に、永久歯が生え始める時期に虫歯予防としてフッ化物洗口を実施する意義を伝え、保育園と親と子で永久歯の虫歯予防に努められるよう健康教育の場とする。

(2) 内容

実施期間	平成 25 年 1 月～2 月
実施場所	町内保育園(南、西、中、北)
対象者・参加者	年中児の保護者 137 名(南 28 名 西 42 名 中 42 名 北 25 名)
内容	フッ化物洗口説明 フッ化物洗口見学・体験・講話 年中児への歯磨き指導 (パネルシアター、染めだしブラッシング)
従事者	園長・歯科医師・歯科衛生士

4 歯の健康センター

(1) 目的 歯科保健に対する意識の向上と低年齢児のう蝕の予防、ならびに成人のう蝕・歯周病による歯の喪失の予防に努める。

(2) 対象 就学前の幼児～小学 3 年生までの児童と成人(成人は定員 25 名)

(3) 日時 平成 24 年 6 月 10 日 (日) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分

平成 24 年 11 月 18 日 (日) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分

(4) 内容 歯科健診 フッ素塗布 一般歯科相談 歯科健康教育

(5) 受診状況 (単位：回・人)

実施年度	実施回数	受診者総数	受診者内訳	
			幼児	成人
22	2	259	210	49
23	2	279	236	43
24	2	220	179	41

5 妊婦歯科健康診査

(1) 目的

妊娠中は生活の変化やホルモンの影響などで虫歯になりやすく歯肉炎や口内炎もおきやすいため、妊婦の歯肉炎や虫歯の予防と早期発見に努める。

乳歯の質を決めるこの時期に歯科健診を受け、歯科保健について学習する機会をもうけ、生まれてくる子どもの虫歯予防の啓発とする。

(2) 受診者の状況

ア 受診者数 (単位：人)

年 度	20	21	22	23	24
初産婦	48	45	48	42	50
経産婦	42	30	44	42	34
計	90	75	92	84	84

イ 健診結果 (単位：人・本)

区分 年度	受診 者数	う歯の ある者	歯周疾患の ある者	平均 処置歯数	平均 現在歯数	平均 健全歯数
24	84	40	31	8.8	28.4	18.2

ウ 歯周コード (単位：人)

0	1	2	3以上
7	8	38	31

エ 判定結果 (単位：人)

異常なし	要指導	要精検
4	30	50

歯周コード判定基準

0：健全な歯肉の状態
1：歯肉から出血する状態
2：歯石沈着あり
3：歯周ポケット4ミリ以上6ミリ未満
4：歯周ポケット6ミリ以上

6 歯周病予防健診

(1) 目的

成人歯科保健に対する意識を高め、歯周疾患の早期発見と予防に努める。
歯の健康に関して学び、正しいブラッシングの方法を身につける。

(2) 対象

平成25年3月31日までに満40・45・50・55・60・65・70・75歳の節目になる者及び特定保健指導対象者

(3) 実施期間・場所

平成24年4月1日～平成25年3月31日 町内歯科医療機関

(4) 実施内容

口腔内及びその周辺診査・保健指導

(5) 受診状況

(単位：回・人)

区分 年度	受診者数			年齢別			
	総数	男	女	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
22	15	3	12	3	4	6	2
23	61	13	48	30	22	7	2
24	82	28	54	34	23	13	12

*平成24年度は40～60歳までの対象者に個別通知

(6) 診査結果

ア 歯牙・歯周診査結果

(単位：人・本)

受診者数	未処置の う歯のある者	歯周疾患の ある者	平均 処置歯本数	欠損補綴歯本数 (処置歯の再掲)	平均健全歯 数
82	26	38	11.3	17	13.6

*欠損補綴歯…失われた歯を人工歯で補ったもの

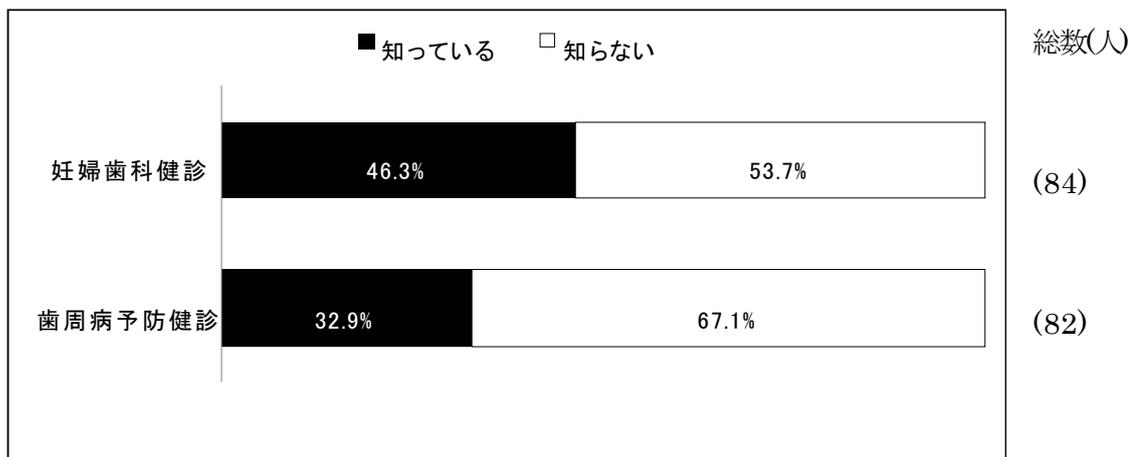
イ 総合判定

(単位：人)

受診者数	異常なし	要指導	要精検
82	12	15	55

(7) アンケート結果

喫煙と歯周病の関係認知度



(8) 歯の健康づくり得点

妊婦歯科健診、歯周病予防健診、特定保健指導、フッ化物洗口説明会時に実施。歯の健康づくり得点は口の中を見なくても口の健康状態を把握できるものである。大口町民の歯の健康状態の傾向を把握し、健康教育に役立て、歯の健康増進につなげていくことを目的としている。

チェック項目により点数が決められており、合計得点が16点以上の者は歯の健康にとって良い生活習慣を持ち、歯の状態にも問題がないと判断している。

ア 実施人数

(単位：人)

	男	女	妊婦	計
40歳未満	0	182	77	182
40歳以上	49	99	4	148
合計	49	281	81	330

イ 歯の健康づくり得点で16点以上の者

(単位：人)

	男	女	妊婦	計
40歳未満	0	39	15	54
40歳以上	38	34	2	74
計	38	73	17	128

16点以上の割合38.9%

7 はちまるにいまる きゅうまるいちほち 8020・9018運動 歯の健康コンクール

(1) 目的

生涯を通じた歯の健康づくりの一環として、80歳以上で20本以上、90歳以上で18本以上の歯がある方を表彰し、歯科保健への認識を高める。

(2) 表彰日時

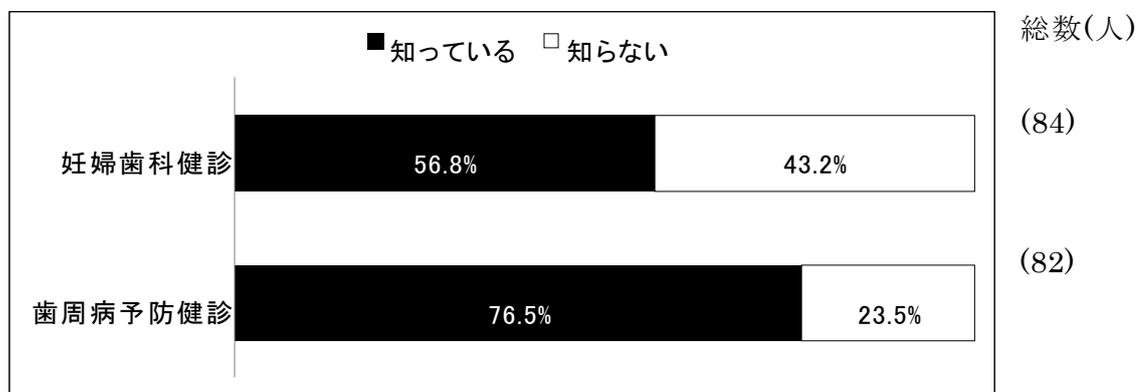
平成24年11月18日(日)

(3) 表彰者

18人 内訳(男性11人 女性7人) (8020 18人 9018 該当者なし)

(4) 8020運動の認知度

ア 実施結果



8 口腔機能向上事業

(1) 目的

いつまでも生き生きとして暮らしていくために、口腔機能維持や改善をし、高齢者が自立した生活を送ることができるよう支援していく。また、要介護状態の発生の予防を目的に特定高齢者に対して支援していく。

(2) 内容

事業名	口腔機能向上教室（おいしく食べられる健口教室）
対象者	元気アップ高齢者に該当する方
実施時期	平成 24 年 8 月～平成 25 年 3 月
実施回数	1 クール 6 回(月 1 回開催) 事後フォロー（地域包括支援センター主催 いきいき教室）
実施場所	大口ケアセンター あかり
従事者	歯科衛生士 介護グループ職員
参加人数	14 名
募集方法	生活機能チェックリストを送付し、口腔機能の項目に該当した方を地域包括支援センターから勧誘
実施内容	1 回目 事前アセスメント 2 回目 染め出しによる口腔清掃指導、歯っぴー体操、唾液腺マッサージ 3 回目 講話（歯周病とむし歯、唾液、飲み込み、口腔機能）、歯っぴー体操、唾液腺マッサージ 4 回目 お口周りの筋力アップゲーム、歯っぴー体操、唾液腺マッサージ 5 回目 脳トレーニングとお口の体操、歯っぴー体操、唾液腺マッサージ 6 回目 事後アセスメント

(3) まとめ

前年度、参加の意思はあるが移動手段が無く不参加という方が多かったため、今年度から会場を大口ケアセンターあかりとし、参加者の送迎を同事業所に委託することにより参加者が増加した。

教室では、ゲームなどで、楽しくお口周りの筋力アップに取り組むことができた。ほとんどの参加者が事前アセスメントよりも結果が向上した。

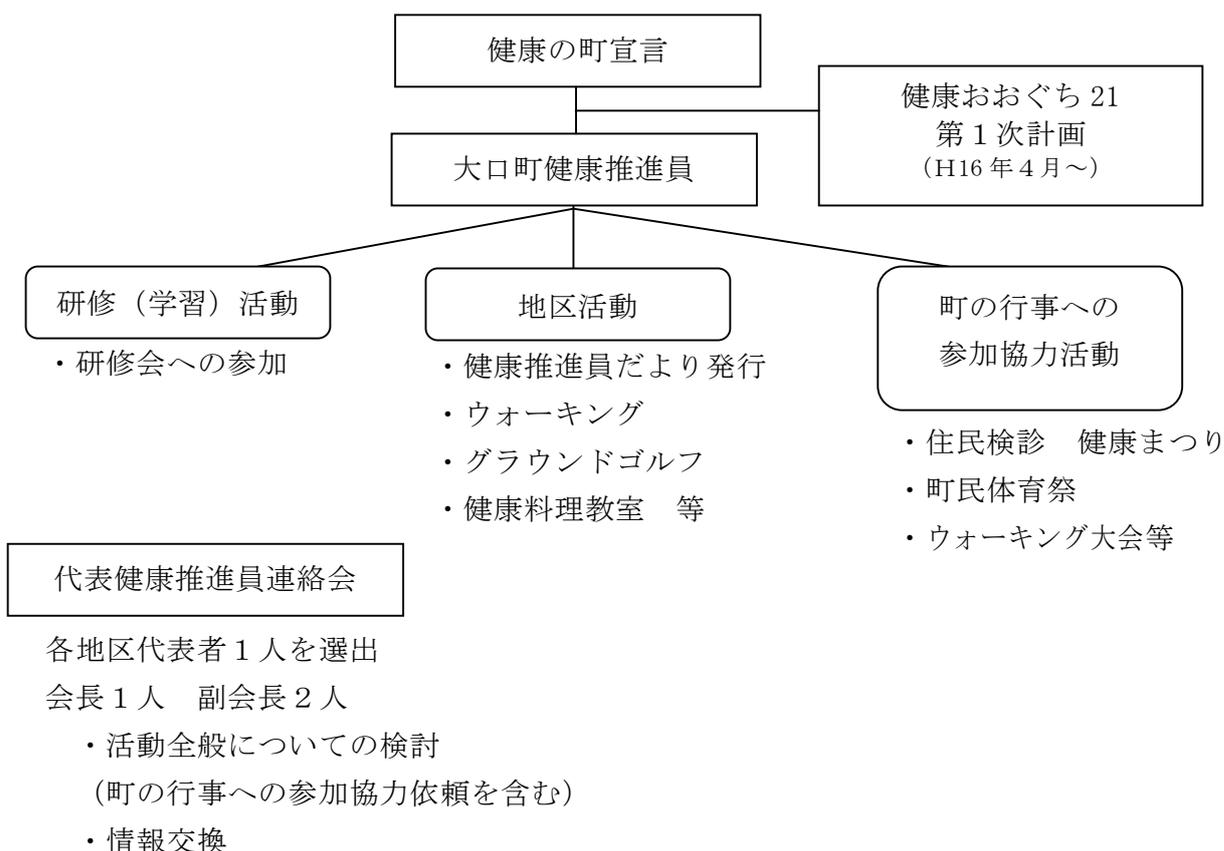
5 健康推進事業

1 健康推進員活動

平成5年12月議会において「大口町健康の町宣言」が議決された。平成7年6月には、健康の町宣言事業の一環として、健康で幸せな生活を送るために、地区住民の健康意識を高め、地区活動を積極的に推進することを目的として、健康推進員制度が設置された。

健康推進員数は概ね100世帯に1人とし、平成22年度からの第6期健康推進員は62人でスタートした。

今年度は、第6期3年目にあたり「自分の健康から家族・地域の健康に目を向けてみよう！」を目標に、生活習慣病予防を中心とした理解と推進を研修会で学習しながら、「健康おおぐち21」の推進内容を中心に今までの地区活動の継続や区の活動に参加するなど、積極的に健康づくりの活動を展開した。また介護・保険・健康の取り組み（元気づくりプロジェクト）の『おおぐち2万人元気計画』のもと、ポールウォーキングの普及と体力測定を中心に地区活動を行った。



(1) 健康推進員全体活動

(単位:人)

実施月日	内容	参加人数
11月3日(土)	健康まつりの一環としてウォーキング大会 各地区から広場までウォーキングコースを設定し実施	403
11月3日(土)	大口町ふれあいまつり2012にて 健康まつり(健康おおぐち21推進)	1,350

(2) 健康推進員研修会実施状況

(単位：人)

実施月日	内 容	講 師	参加人数
5月21日(月)	「笑い体操」笑って脳を活性化しよう!	笑い体操管理士	39
7月11日(水)	「〇〇を食べて健康になる」ってほんと?	町管理栄養士	42
7月31日(火)	幸田町保健推進員との交流会	—	32
10月11日(木)	こころも体も いつまでも若々しく ～アンチエイジング～	ハートフル ケアセミナー	38
11月29日(木)	視察研修 北名古屋市回想法センターとウォーキング	—	46
1月22日(火)	歯はいのち!! ご存知ですか? 歯と〇〇はこわ～い関係 歯周病チェック	尾北歯科医師会 歯科医師 町歯科衛生士	45
3月20日(水)	活動報告会及び終了式	—	45

(3) 代表健康推進員連絡会実施状況

実施月日	主 な 内 容
平成24年 4月5日(木)	平成24年度代表健康推進員連絡会について 平成24年度健康推進員活動交付金について 研修会について・情報交換
6月7日(木)	結核肺がん検診について(反省会) 幸田町保健推進員との交流会について
7月18日(水)	幸田町保健推進員との交流会について
7月24日(火)	幸田町保健推進員との交流会について ウォーキング大会について(記念品)
8月23日(木)	幸田町保健推進員との交流会について(反省会) 健康推進員制度について
10月11日(木)	ウォーキング大会(コース確認・役割分担)について 健康まつり(役割分担)について
11月6日(火)	ウォーキング大会について(反省会) 健康推進員活動 中間報告について 先進地視察について
平成25年 1月22日(火)	第6期健康推進員終了式について 健康推進員活動 実績報告について
3月7日(木)	第6期健康推進員終了式について 第7期健康推進員への引き継ぎについて

(4) 地区自主活動の状況

地 区	活 動 状 況
秋 田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太極拳教室（毎月第2、第4金曜日） ・ 秋田グランドゴルフ練習（毎週月曜日） ・ 早朝さわやか太極拳とポールウォーキング ・ 秋田ふれあい盆踊り大会 ・ 秋田ポールウォーキング日帰り旅行 ・ 健康まつり・ウォーキング大会 ・ 秋田グランドゴルフ秋季大会 ・ 秋田グランドゴルフ春季大会 ・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時） <p style="text-align: right;"> 毎回 15 人 30 人 20 人 多数人 65 人 54 人 55 人 51 人 75 人 </p>
豊 田	<ul style="list-style-type: none"> ・ しなやかお達者の会参加（毎月2回・年間24回） ・ ゴキブリ団子づくり ・ 早朝ラジオ体操（7/23～27） ・ 地区盆踊り大会 ・ バスツアー（大阪よしもと） ・ 健康まつり・ウォーキング大会 ・ 消火訓練 ・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時） <p style="text-align: right;"> 31 人 35 人 22 人 </p>
大屋敷	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴキブリ団子作り ・ 結核肺がん検診手伝い ・ 地区盆踊り大会 ・ 健康まつり・ウォーキング大会 ・ 防災訓練と芋煮会の手伝い ・ 家庭介護講習会 ・ 日帰りバスツアー（静岡） ・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時） <p style="text-align: right;"> 30 人 30 人 150 人 50 人 </p>
外 坪	<ul style="list-style-type: none"> ・ グランドゴルフ練習（毎月2回） ・ 親善グランドゴルフ大会 ・ 外坪区老人クラブの集いとグランドゴルフ大会 ・ 結核肺がん検診手伝い ・ 地区別対抗 町グランドゴルフ大会 ・ 盆踊りの練習（4回） ・ 地区盆踊り大会 ・ 地域ふれあいバスウォーキング大会：日間賀島 ・ 健康まつり・ウォーキング大会 ・ 防災講話・炊き出し手伝い ・ 地区ミニグランドゴルフ大会 ・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時） <p style="text-align: right;"> 毎回平均 25 人 48 人 55 人 20 人 延べ 300 人 44 人 30 人 45 人 </p>

地 区	活 動 状 況
河 北	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナイトウォーキング（月2回） 毎回約 12 人 ・ 高齢者ふれあい事業への参加 120 人 ・ 犬山城ウォーキング（雨天のため中止） ・ 結核肺がん検診手伝い 15 人 ・ ごきぶり団子教室とポールウォーキングの紹介 31 人 ・ 国際交流事業への参加（アートバルーン） ・ フラダンス教室 26 人 ・ 地区盆踊り大会 ・ 町制50周年記念講演会へ参加 ・ 地区防災訓練 ・ 健康まつり・ウォーキング大会参加 65 人 ・ 花餅飾り作り 52 人 ・ 普通救命講習 10 人 ・ 太極拳教室 32 人 ・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時）
余 野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康リズム体操（月2回） 毎回 10～15 人 ・ グランドゴルフ大会 67 人 ・ 結核肺がん検診手伝い ・ 地区ウォーキング大会 9 人 ・ 地区盆踊り大会 ・ 「夏バテ予防・回復」健康料理教室 22 人 ・ 飛騨小坂滝めぐりバスウォーキング 42 人 ・ 健康まつり・ウォーキング大会参加 34 人 ・ ポールウォーキング大会 40 人 ・ 「健康実態調査と医療費」「冬の旬野菜」健康料理教室 15 人 ・ 活動内容の検討と打ち合わせ（月1回）
上小口	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポケットパーク草取り ・ 結核肺がん検診手伝い ・ ポールウォーキング講習会 21 人 ・ 健康教室（寿楽会とタイアップ） 70 人 ・ 盆踊り練習 ・ 地区盆踊り大会 ・ バスウォーキング（上高地） 55 人 ・ 健康まつり・ウォーキング大会 40 人 ・ 「伸ばそう健康寿命」健康料理教室 22 人 ・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時）
中小口	<ul style="list-style-type: none"> ・ グランドゴルフ練習（毎週月曜日） 毎回約 27 人 ・ 健康体操（毎週火曜日） 毎回約 22 人 ・ 中小口・垣田グランドゴルフ交流会 40 人 ・ 大正村・岩村城下町ウォーキング 47 人 ・ 健康まつり・ウォーキング大会 35 人 ・ 年度末グランドゴルフ大会 28 人 ・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時）

地 区	活 動 状 況
下小口	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナイトウォーキング（毎週金曜日） 128 人 ・ 高齢者ふれあいのつどい「敬老会」 42 人 ・ 結核肺がん検診手伝い 23 人 ・ 塩麴を使った健康料理教室 49 人 ・ 太極拳講習 ・ 地区盆踊り大会手伝い 51 人 ・ 健康まつり・ウォーキング大会 37 人 ・ ポールウォーキング講習 71 人 ・ ウォーキング大会 ・ 活動内容の検討と打ち合わせ（月 1 回）
垣 田	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナイトウォーキング（毎週木曜日） 毎回約 10 人 ・ グランドゴルフ練習（毎週月・水曜日） 毎回約 12 人 ・ 結核肺がん検診手伝い ・ 中小口グランドゴルフ交流戦 11 人 ・ 垣田グランドゴルフ大会 16 人 ・ 大口町やろまい大会踊り参加 ・ 町制 50 周年グランドゴルフ大会 20 人 ・ 健康まつり・ウォーキング大会 14 人 ・ 犬山さらさくらバスツアー 22 人 ・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時）
さつき ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結核肺がん検診手伝い ・ 親睦バスハイキング 50 人 ・ 盆踊り練習（7 月 4 回） 延べ 67 人 ・ ラジオ体操（こども会と共催） 多数 ・ 地区盆踊り大会 ・ 健康講演会「認知症の予防と家族の接し方」 58 人 ・ 健康まつり・ウォーキング大会 30 人 ・ ポールウォーキング講習会 33 人 ・ ミニ盆栽作り（ふれあい事業共催）2 回開催 各 15 人程度 ・ 「ロコモ予防と骨密度について」健康料理教室 22 人 ・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時）

2 健康おおぐち21計画推進

平成15年度に「健康づくりの主役は住民」「健康づくり＝町づくり」と捉え、大口町の健康づくり計画「健康おおぐち21」を住民と町職員が共に考え策定した。

今年度も昨年度に続いて、「血管を守ろう！」を合言葉に元気づくりプロジェクト(介護・国保・健康・福祉の各グループの連携プロジェクト)と連携し、特に生活習慣病予防に重点を置き、今日から始めることができる予防の提案として、「歩くこと」「体重を計ること」「野菜を食べること」の啓発を行った。

また、運動の習慣づけとして新たにポールウォーキングを取り入れ、健康推進員活動時や町のNPO団体健康クラブ笑顔21とともに事業展開を行った。さらに、身体活動の気づきとして、「おおぐち2万人元気計画 体力測定」を企画し、体力測定の補助員として、元気づくりサポーターを養成した。体力測定は健康まつりや地区老人クラブで実施した。

(1) 健康おおぐち21計画推進実施状況

運動・生活活動	<ul style="list-style-type: none"> ・元気体操 ウォーキング MAP の周知 ・ポールウォーキングの周知啓発 ・元気体操の普及(さくら大学(毎月)・南小)
食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の野菜料理教室(年3回) ・「おおぐち町産旬の野菜レシピ」の製本・販売
こころ	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの標語 各掲示板に掲示 ・「広報おおぐち」にこころの標語を掲載 ・自殺予防キャンペーンの街頭啓発
歯の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室等で唾液線マッサージやお口の体操を実施
たばこ	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙の防止 ・たばこダメダス登録数の啓発
生活習慣病	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率向上についての取り組み ・ポールウォーキングの啓発 ・「2万人体力測定」の実施

健康おおぐち21 推進9年目の方向性

～ 健康で 笑顔のおおぐち 今日も元気 明日も元気 ～



(2) 健康おおぐち21計画推進の経過

<計画推進に向けての会議等実施状況>

大口町健康づくり推進協議会	2回
健康クラブ笑顔21（定例会・臨時）	12回（192人）
健康まつり連絡会	3回

(3) 健康おおぐち21計画推進イベント

ア 目的

健康おおぐち21の推進の一環として、より多くの人へ計画の周知と健康づくりのきっかけとなるよう、ふれあいまつり2012の中で「健康まつり」として実施。

イ 日時

平成24年11月3日（土） 午前10時～午後3時

ウ 場所

健康文化センター 1階～5階

エ スタッフ

健康クラブ笑顔21・健康推進員・高齢者福祉協力員・脱メタボおじさまの会・マーメイド・断酒会・国保連合会在宅保健師・歯科衛生士会・薬剤師会・東海学園大学・名古屋経済大学大学院・健康生きがい課・戸籍保険課

オ 内容及び参加人数

テーマ「血管を守ろう！ ～伸ばそう健康寿命～」

参加者数 約 1,350人（総合受付通過人数）

【各コーナーの体験人数】

●1階（ロビー・多目的室・機能回復訓練室）【午前/午後】（単位：人）

コーナー名（午前/午後）	参加人数	コーナー名（午前/午後）	参加人数
①大口町産旬の野菜コーナー			
・旬の野菜料理試食配布 (150/150)	300	・旬の野菜レシピ本販売	287
②血管年齢・脳トレコーナー			
・脳年齢計（52/46）	98	・脳トレ①ゆび体操（51/77）	128
・加速度脈波計（90/48）	138	・脳トレ②鏡絵（80/95）	175
・血管年齢チェック (103/101)	204	・脳トレ③空間図形（47/62）	109
・肌年齢チェック（65/100）	165	・アルコールパッチ（12/10）	22
③癒しの抹茶コーナー	368		
※無料招待分 121（介護施設41・介護者慰労80）			
※抹茶券販売分 247			

(単位：人)

コーナー名 (午前/午後)	参加人数	コーナー名 (午前/午後)	参加人数
④健康チェックコーナー 263 (受付通過)			
・味覚チェック (63/76)	139	・ヘモグロビン濃度測定 (64/108)	172
・食生活アンケート (73/59)	132	・握力 (63/86)	149
・体組成計 (Inbody) (62/80)	142	・脈波 (55/62)	117
・肺活量 (32/80)	112	・栄養相談 (2/1)	3
・骨密度測定 (56/78)	134	・健康相談 (17/12)	29
⑤⑥足の元気チェックコーナー			
・ポールウォーキング体験コーナー (27/33)	60	・フットマッサージ (30/26)	56
・足型測定器 (118/74)	192	・シューフィッター (40/45)	85
・足型画像測定器 (76/56)	132		
⑦10年後も元気でいよう！			
・10年後の自分への手紙 (76/76)	152 通	※家族複数でまとめて1通に封入している方もあり、 実際はこれ以上の来場者であった。	

●2階 ロビー

(単位：人)

⑧ワンコインリラックス体験			
・整膚 (14/9)	23	・エステ体験 (4/3)	7
・頭皮揉術健康法体験 (9/4)	13	・MIZUNO 即売会	若干名

●4階 ほほえみホール・ふれあい4

(単位：人)

⑨2万人体力測定	157	・脈波伝播測定	25
----------	-----	---------	----

3 国保・介護・健康・福祉グループ間の連携

(元気づくりプロジェクト) 取組状況

取組みの背景・状況

年々伸び続ける国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険などの給付費は、今後の高齢者の増加に伴い、ますます増えていくものと思われる。町としては医療や介護の給付費の抑制“給付を抑える＝予防”を図ることが必要である。

そこで平成22年度から、戸籍保険課国保グループ、健康生きがい課介護グループ、健康グループが連携をして、国保・介護・健康の総合的な視点から現状の把握と分析に努め、得られたデータを基に、住民に対して、医療や介護の現状の理解、健康への関心を高めるため地区での説明会を開催してきた。

また、医療費分析の結果から、本町は脳血管疾患での受診率が高く、その医療費も高いこと。血管は、肥満や高血圧、高血糖・脂質異常などの影響を受け、一つひとつのリスクが積み重なることで、動脈硬化の状態が進行し、その結果脳血管疾患などの病気を発症してしまうことから、「血管を守ろう!」を合言葉に「おおぐち2万人元気計画」～10年後も元気でいよう!～の取り組みを展開している。

(1) 住民等に対する周知活動

ア 「血管を守ろう」啓発用リーフレット配布

戸籍保険課 特定健診受診票と共に送付

健康生きがい課 65歳到達時に介護保険被保険者証と共に送付

窓口・健康教室・講演会・地区説明会等で配布

イ 町制50周年記念行事「HAPPYバースデイ!おおぐち」での周知

・ポールウォーキング体験 約100人

・10年後の自分への手紙

・体脂肪計測定 52人

・血圧測定 60人

ウ 広報おおぐちによる周知

元気づくりプロジェクト通信(平成23年度10月号から掲載中)

(2) 2万人体力測定の実施

日 時	内 容	参加人数
5月 2日 (水)	町職員対象に試行実施 参考データの収集及び種目の選定	40人
11月3日 (土)	健康まつりにて実施	157人
11月18日 (日)	福社会館中央集会室にて実施	64人

○東海学園大学の協力

- ・体力測定の実施種目の選定及び実施
- ・元気づくりサポーター養成講座開催 10月15日 18人参加

(3) ウォーキング・ポールウォーキングの推進

ア 福祉講演会

日 時	場 所	内 容	参加人数
9月23日 (日)	町民会館	「10歳若返る！いきいきウォーキング」 講師 中京大学スポーツ科学部教授 湯浅 影元 先生	281人

イ ポールウォーキング教室の実施

日 時	場 所	内 容	延参加人数
5月～8月	健康文化 センター 多目的室	国保保健事業として 12回コースで実施 ポールウォーキングについての 講義・実技 講師：健康運動指導士 長谷川 弘道 先生	242人

※教室終了後、引き続き自主グループとして毎週水曜日に継続中(登録53人)
自主グループは、「ポールウォーキングひろめ隊」として福祉講演会や健康まつり時にポールウォーキングの紹介等を実施した。

(4) 保育園での食育の取り組み

町立保育園において様々な食育の取り組みの中で、給食を題材に体への効果を理解し、好き嫌いなく、バランスよく食べるポイントを園児に啓発した。

実施月及び対象児	内 容	参加人数
1 2 月中 各保育園年長児クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・「グー・チョキ・パー」を使った正しい姿勢の取り方 ・3色食品群と体への作用について 	161人
1 月中 各保育園年中児クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・カレーライスで3色食品群に分ける ・3色食品群と体への作用について 	153人
2 月中 各保育園年少児クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の断面クイズ ・うんちの形と野菜の働き 	161人

(5) あいち健康プラザ市町村健康づくり技術支援事業

ア プラザ職員との打ち合わせ 7月から毎月1回開催

イ 丹羽郡町村会議長会研修会開催

(町議会議員・幹部職員・補佐以上職員対象)

日 時	場 所	内 容	参加人数
1 1 月 2 8 日 (水)	健康文化センター 4階 ほほえみホール	<p>「健康寿命の延伸が市町村を救う！」 ～社会保障費抑制のために 市町村ができること～</p> <p>講師 あいち健康の森 健康科学総合センター長 津下 一代 先生</p>	93人

ウ 大口町職員研修開催 (主査主任対象)

日 時	場 所	内 容	参加人数
1 月 3 1 日 (木)	健康文化センター 多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりの必要性とまちづくり ・自分の健康状態を知る ・大口町の現状と課題 	54人
2 月 2 1 日 (木)	健康文化センター 多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・健康なまちづくりに向けて (ライフステージ毎に検討) 	48人

(6) その他

ア 依頼による活動紹介

日 時	内 容	主 催
11月16日 (金)	社員研修 「高齢化社会をより豊かに生き抜くために」	(株) いずみ
11月22日 (木)	岩手県遠野市綾織町4団体合同 (社協・区長会・公衆衛生組合・保健推進委員協 議会) 視察研修会	岩手県遠野市 綾織町4団体

取り組みの評価

町制50周年を機に、「10年後も元気に」を目標に「2万人体力測定」を東海学園大学との協定やトレーニングセンターの協力のもと、健康診断の結果とともに、測定者のデータ分析の検討までできたことは評価できる。

福祉こども課職員や管理栄養士が加わり、元気づくりプロジェクトの活動の幅が広がった。また、政策推進課職員とともに、あいち健康プラザの事業支援を受けて職員研修を企画・実施したことは、町全体で健康づくりをすることの意識づけにつながり評価できる。

6 感染症予防事業

1 予防接種

予防接種は、感染症予防のために最も有効な手段の一つである。その目的を果たすためには、予防接種法等関係法令の規定に基づき、乳幼児や学童・高齢者に対して、安定的に予防接種の機会を提供し、安全で有効な予防接種を実施し、一定の接種率を確保することが重要である。本町では広報・ホームページ等で周知し、未接種者を把握し乳幼児健診・個別通知等で勧奨を行い接種率の向上に努めている。

(1) 個別接種実施体制

就学前の乳幼児に対しては出生届時に戸籍保険課において、予防接種予診票綴と「予防接種と子どもの健康」を交付している。学童の接種対象者については、個別通知にて予診票を送付し、予防接種を受けるよう周知している。転入者については保健センターで予診票の交付（差し替え）を行っている。

インフルエンザ予防接種は、対象者ごとに個別で予診票を送付し、希望者は委託医療機関にて一部負担金（1,000円）を支払い、接種を受けるよう周知している。

平成24年6月1日から尾張北部圏域内(大口町・扶桑町・江南市・犬山市・小牧市・岩倉市・春日井市)にて、予防接種法に基づく予防接種の広域化を開始した。

ア 個別接種の種類と接種期間

四種混合、三種混合、二種混合、MR（1期・2期・3期・4期）、日本脳炎、ポリオ、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防接種は4月から3月まで一年を通して実施し、インフルエンザ予防接種(65歳以上)は11月1日～12月28日の期間で実施した。なお、二種混合予防接種は平成24年度から一年を通しての実施へと変更した。

イ 予防接種会場

予防接種の種類		接種方法	接種会場
一類疾病	四種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ）	個別接種	大口町・扶桑町 江南市・犬山市の 委託医療機関 （予約制） ※H24.6.1から追加 小牧市・岩倉市・ 春日井市の委託 医療機関
	三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）		
	二種混合（ジフテリア・破傷風）		
	MR（麻しん・風しん混合）・麻しん・風しん		
	日本脳炎		
ポリオ（急性灰白髄炎）：不活化ワクチン			
二類疾病	インフルエンザ		
任意	ヒブ		
	小児用肺炎球菌		
	子宮頸がん		
一類疾病	BCG	集団接種	保健センター
	ポリオ（急性灰白髄炎）：生ワクチン		

(2) 実施状況

平成 24 年度には予防接種法の改正が行われ、9 月 1 日から急性灰白髄炎（ポリオ）予防接種に使用するワクチンの規定が生ワクチンから不活化ワクチンへと変更され、11 月 1 日からジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎（ポリオ）及び破傷風の定期予防接種に四種混合ワクチンが導入された。

(単位：人・%)

一類疾病		24 年度			23 年度	22 年度	21 年度
		対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率
四種混合	第 1 期初回 1 回目	95	58	61.1			
	第 1 期初回 2 回目	95	35	36.8			
	第 1 期初回 3 回目	95	20	21.1			
	第 1 期追加	95	0	0.0			
三種混合	第 1 期初回 1 回目	207	170	82.1	91.2	85.1	85.9
	第 1 期初回 2 回目	210	187	89.0	91.2	87.4	89.3
	第 1 期初回 3 回目	203	195	96.1	94.4	84.6	86.7
	第 1 期追加	254	249	98.0	74.3	95.1	77.8
二種混合	第 2 期	257	216	84.0	78.6	88.8	92.9
麻しん・ 風しん混合 (MR)※ ¹	第 1 期	221	220	99.5	95.6	97.1	98.8
	第 2 期	247	225	91.1	95.2	95.9	92.7
	第 3 期	270	242	89.6	89.7	92.1	90.9
	第 4 期※ ²	231	211(13)	91.3	91.2	88.1	89.0
日本脳炎	第 1 期初回 1 回目 接種者	688※ ³	251	36.5	55.2 427	— 522	— 149
	第 1 期初回 2 回目 接種者	688※ ³	250	36.3	56.8 440	— 512	— 147
	第 1 期追加 接種者	496※ ⁴	374	75.4	65.9 488	— 219	— 143
	第 2 期 接種者	—	106	—	— 515	— 323	— 93
ポリオ (不活化 ワクチン)	第 1 期初回 1 回目	377	201	53.3			
	第 1 期初回 2 回目	377	272	72.1			
	第 1 期初回 3 回目	377	274	72.7			
	第 1 期追加	377	0	0.0			
ポリオ (生ワクチン)	1 回目	89	75	84.3	98.3	86.3	90.9
	2 回目	88	92	104.5※ ⁵	93.7	88.0	90.6
BCG		217	209	96.3	97.8	100.0	99.6

二類疾病	24年度			23年度	22年度	21年度
	対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率
高齢者インフルエンザ(65才以上) 接種者	4,585	2,756	60.1	61.4 2,702	66.7 2,881	63.4 2,676

※¹MR第3期・第4期：麻しん排除計画による平成20年度～24年度までの5年間の時限措置。

※²MR第4期：平成23年5月20日から平成24年3月31日までの間、就学旅行等学校行事としての研修旅行で海外に行く等特段の事情がある場合には、17歳となる日の属する年度(高校2年生相当)の者も接種対象とみなされた。()は高校2年生相当時点で接種をした者。

※³日本脳炎初回接種対象者：3歳及び積極的な勧奨の差し控えにより未接種だった者で、第1期末接種分の勧奨対象者の8歳及び9歳の者。

※⁴日本脳炎追加接種対象者：4歳及び積極的な勧奨の差し控えにより未接種だった者で、第1期末接種分の勧奨対象者の10歳の者。

※⁵ポリオ(生ワクチン)：対象として設定した生まれ月以外の接種者がいるため、接種率が100%を超えた(不活化ワクチン開始までの4～6月に実施した実績)。

(3) 日本脳炎

平成17年5月30日から接種の積極的勧奨が差し控えられていたが、平成23年5月20日付けの国からの通知により、第1期初回及び追加接種の標準的な接種期間の該当者(3歳及び4歳)と国の示す年齢の対象者へ積極的な接種勧奨を行うこととなり、平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれの人は、4歳以上20歳未満まで接種できる機会が延長されている。なお、平成24年度は8歳、9歳の1期末接種分と10歳の1期追加接種の積極的勧奨を行い、予防接種を実施した。

(4) 子宮頸がん予防ワクチン・ヒブ・小児用肺炎球菌

平成22年11月26日から子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金事業が適用され、本町でも平成23年1月から接種費用の一部助成を開始し3年目となる。国の通知により、平成24年3月31日までに1回でも接種したことのある高校2年生も接種対象者として実施した。町民税非課税世帯及び生活保護世帯に属する人は接種費用の全額を助成している。

ワクチン名	対象者	24年度		23年度	
		被接種者	延べ接種回数	被接種者	延べ接種回数
子宮頸がん	中学1年～高校1年生に相当する年齢の女子 (平成23年度までに1回でも接種歴のある高校2年生も含む)	126人	217回 (※ ¹ うち2回)	341人	679回 (※ ¹ うち28回)
ヒブ	2か月齢以上5歳未満	436人	804回 (※ ¹ うち4回)	371人	661回 (※ ¹ うち5回)
小児用肺炎球菌	2か月齢以上5歳未満	427人	832回 (※ ¹ うち4回)	437人	792回 (※ ¹ うち5回)

※¹ 全額助成した回数

(5) 高齢者肺炎球菌

平成 23 年 6 月 1 日から 75 歳以上の高齢者及び 60 歳以上 75 歳未満の方で心臓・腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する方またはヒト免疫機能に障害(身体障害者手帳 1 級相当)を有する方への高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業を実施している。

ア 接種費用助成額 4,000 円

(町民税非課税世帯及び生活保護世帯の方は 8,000 円。事前申請が必要)

申請者	被接種者(4,000 円助成)	被接種者(8,000 円助成)
71 人	50 人	20 人

※被接種者合計は 70 人。8,000 円助成者のうち 1 人は 75 歳未満で対象となる人。

7 その他

1 学生実習指導

公衆衛生の視点を持った保健師、管理栄養士、看護師を育成するため、地域で行われている公衆衛生看護・栄養活動を学ぶ場として実施している。多岐にわたる役割の中で、生活の基盤となる公衆衛生の実践を学び、臨床と地域の連携を進めていく上でも大切な場となっている。また学生指導を通して、日々行っている保健活動を改めて見直す機会となっている。

学 校 名	養成課程	実習生数（人）	実習期間
名古屋医専 保健学科	保健師	3	平成 24 年 11 月 19 日～22 日
中部大学 生命健康科学部 保健看護学科	看護師 保健師	3	平成 25 年 1 月 15 日、17 日、18 日

※学生は母子保健・成人保健及び住民と協働で進める健康づくりの取り組みを見学し、また対象者の特徴にあわせた媒体作成、健康教育、地区把握等を学ぶ。

保健活動のまとめ

平成25年6月発行

編 集 大 口 町 健 康 福 祉 部 健 康 生 き が い 課
(大 口 町 保 健 セ ン タ ー)
丹 羽 郡 大 口 町 伝 右 一 丁 目 35 番 地
電 話 0587 (94) 0051
F A X 0587 (94) 0052

発 行 大 口 町

健康おおぐち21 シンボルマーク



ハッピー・スマッピー